

第2章 在宅介護実態調査

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、要介護者の在宅生活の継続や、ご家族等介護者の方の就労継続に有効なサービスの在り方を検討し、今後のより良い施策につなげるための基礎資料とすることを目的として、厚生労働省の調査手法に基づき実施しました。

2 調査実施概要

調査対象	在宅で生活をしている要介護1以上の認定を受けている方
対象者数	1,500人（無作為により抽出）
調査方法	郵送配付・郵送回収
調査期間	令和6（2024）年7月3日（水）～8月5日（月）

3 回収結果

配付数	回収数	有効回答数
1,500人	917人 (回答率 61.1%)	852人 (有効回答率 56.8%)

4 報告書の内容に関する留意点

- 回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。端数調整はしていないため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「回答者数=852人」及び(852)は、集計対象者数を示しています。「～と回答した方にお伺いします。」という質問の回答者は、該当する条件の人が回答しているため、852人より少ない集計対象者数となり、条件によって集計対象者数は異なります。
- 複数回答は、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合の高い回答から記載しています。ただし、「その他」や「わからない」など、具体的な内容を含まない選択肢は下に記載しています。
- 図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化して掲載している場合があります。簡略化していない選択肢は、第3章 調査票をご参照ください。
- クロス集計の掲載にあたっては、分析の柱の項目の「無回答」の掲載省略や条件に合った人が回答する質問があるため、表側の回答者数(人)の合計と全体の回答者数(人)は一致しません。
- 問5の本人の要介護度について「要支援1」「要支援2」と回答した方は、抽出後の区分変更等により、介護度に変更があったと考えられるため、本調査の趣旨に鑑み有効回答数及び集計からは除いています。

Ⅱ 調査結果

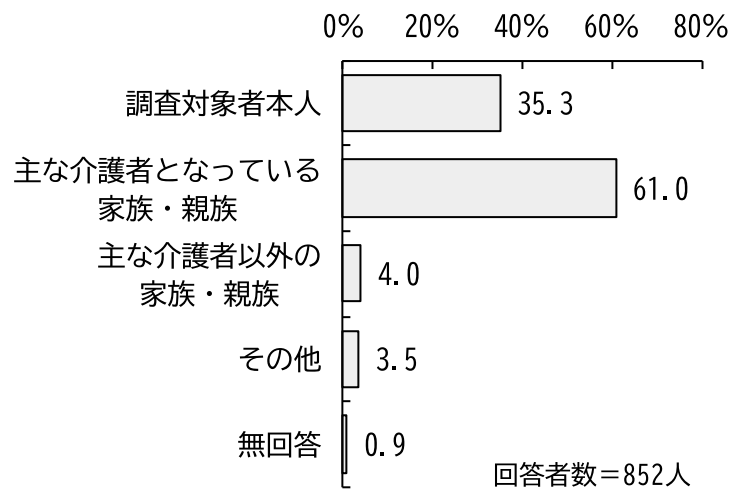
1 調査対象者本人について

(1) 回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」61.0%が最も高く、次いで「調査対象者本人」35.3%、「主な介護者以外の家族・親族」4.0%が続いています。

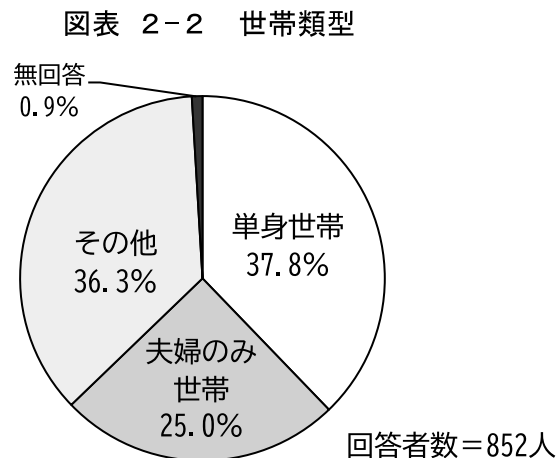
図表 2-1 回答者 (複数回答)



(2) 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

世帯類型は、「単身世帯」37.8%が最も高く、次いで「その他」36.3%、「夫婦のみ世帯」25.0%が続いています。



(3) 性別と年齢

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

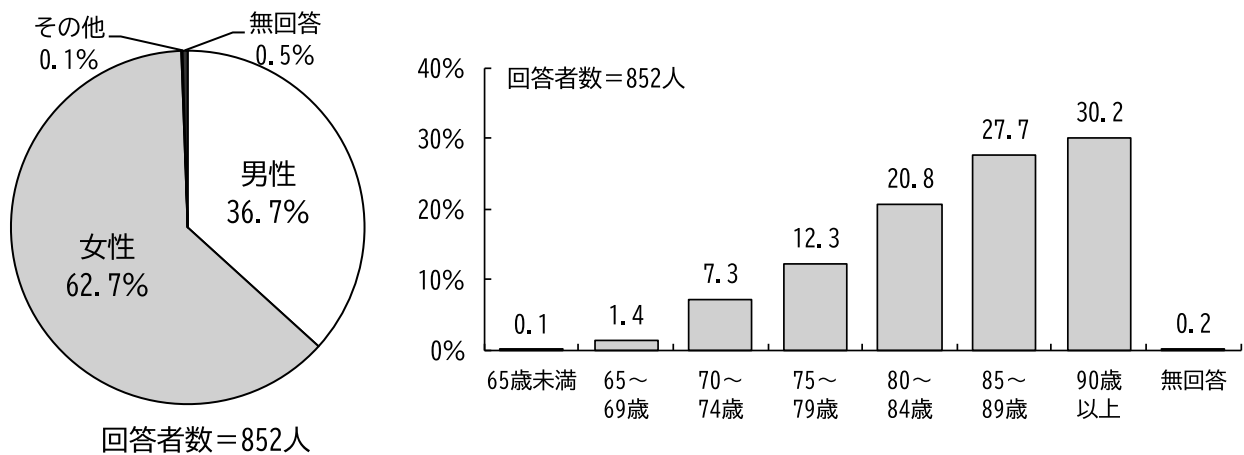
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

性別は、「男性」36.7%、「女性」62.7%となっています。

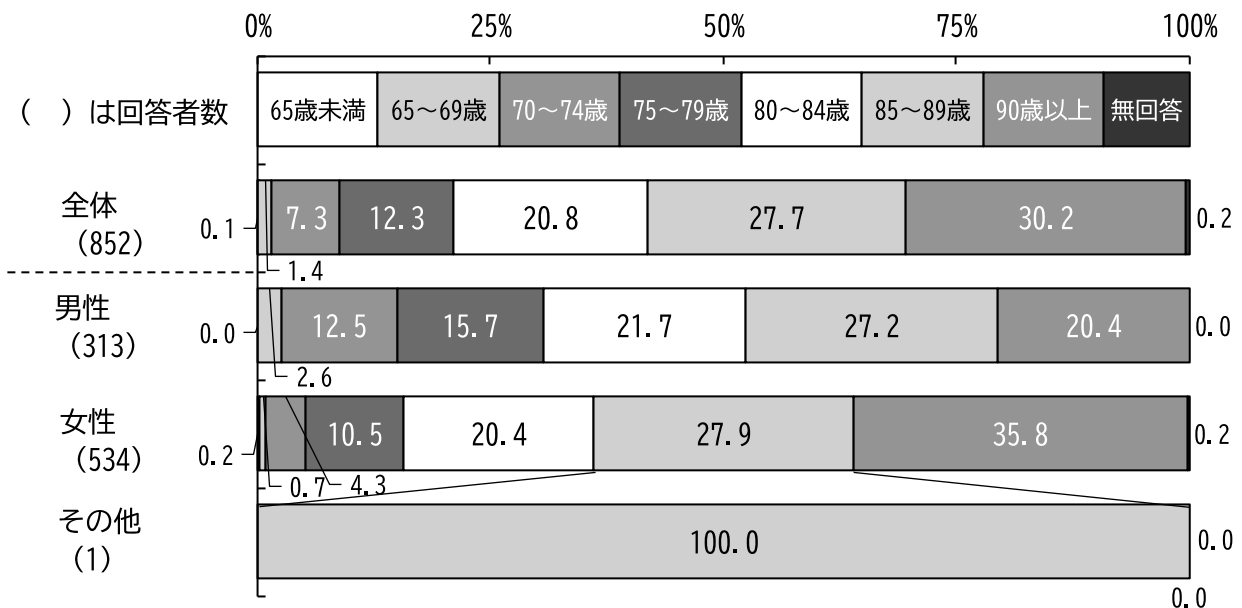
年齢は、「90歳以上」30.2%が最も高く、次いで「85～89歳」27.7%、「80～84歳」20.8%が続いています。80歳以上が78.7%となっています。

年齢を性別で見ると、「90歳以上」の割合は女性が35.8%、男性が20.4%で、女性が男性を15.4ポイント上回っています。

図表 2-3 性別と年齢



図表 2-4 年齢【性別】



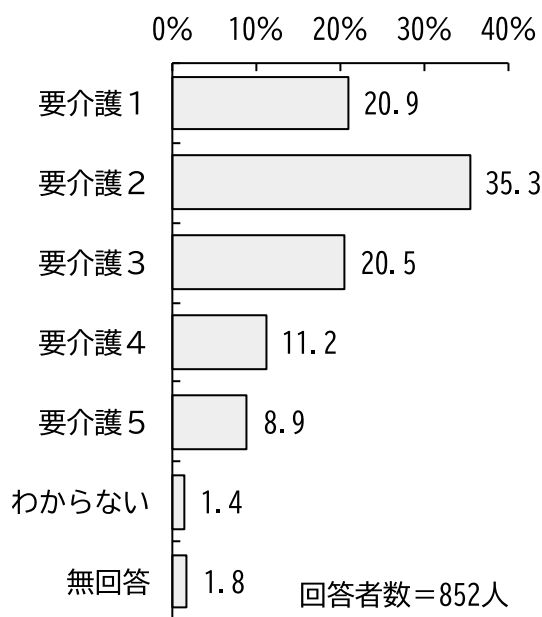
(4) 認定状況

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

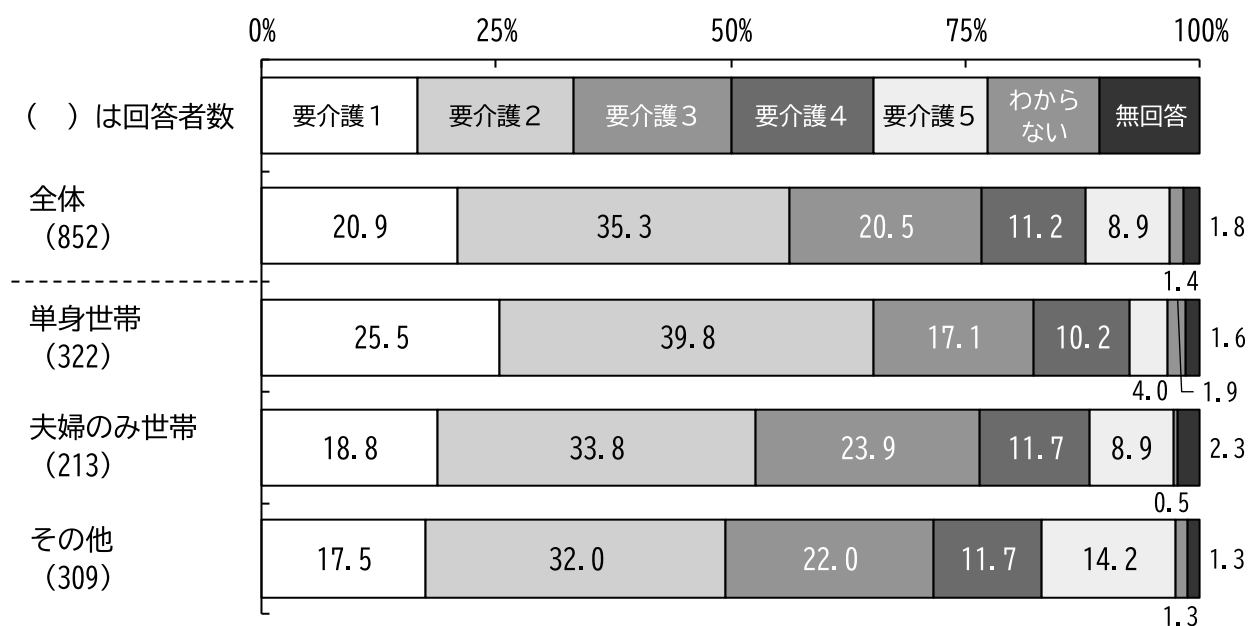
認定状況は、「要介護2」35.3%が最も高く、次いで「要介護1」20.9%、「要介護3」20.5%、「要介護4」11.2%、「要介護5」8.9%と続いています。

世帯類型別にみると、単身世帯では「要介護1」と「要介護2」の合計が65.3%で、全体を9.1ポイント上回っています。

図表 2-5 認定状況



図表 2-6 認定状況【世帯類型別】



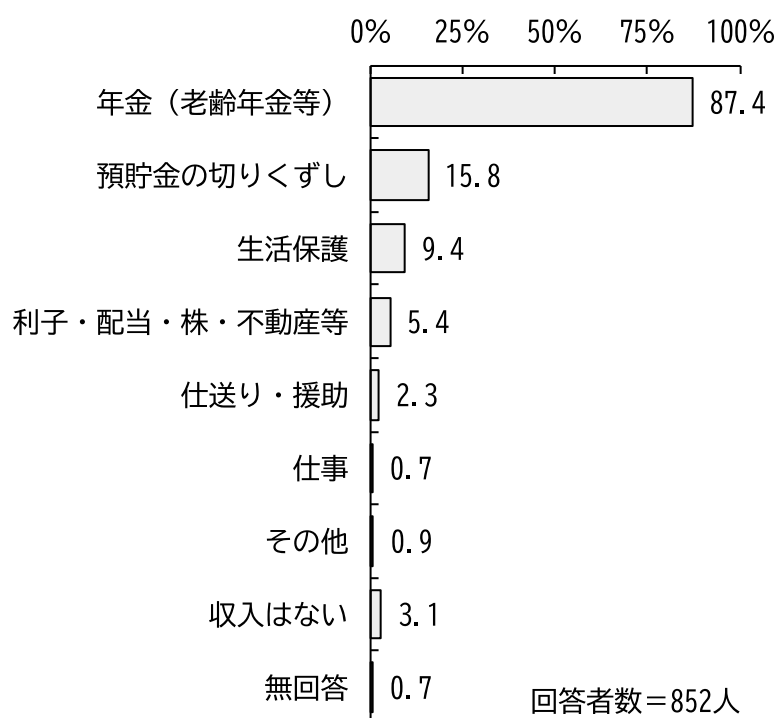
(5) 本人の収入

問6 ご本人の収入は次のうちどれですか。(複数選択可)

本人の収入は、「年金(老齢年金等)」87.4%が最も高く、次いで「預貯金の切りくずし」15.8%、「生活保護」9.4%、「利子・配当・株・不動産等」5.4%、「仕送り・援助」2.3%、「仕事」0.7%となっています。

一方、「収入はない」が3.1%となっています。

図表 2-7 本人の収入 (複数回答)



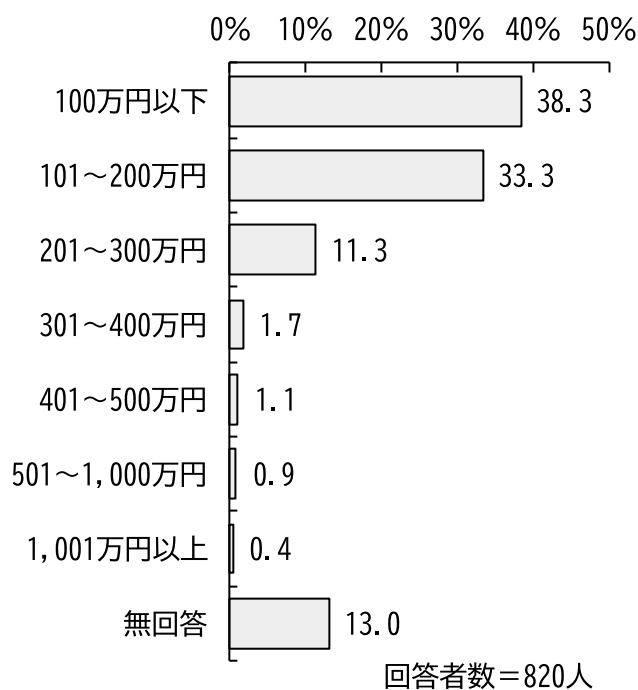
(6) 本人の1年間の手取り額

問7 問6で「1」～「7」と回答した方にお伺いします。

ご本人の1年間の手取り額（年収から事業経費や税金、社会保険料などを差し引いた収入総額）はどれくらいですか。（1つを選択）

収入がある方に本人の1年間の手取り額をたずねたところ、「100万円以下」38.3%が最も高く、次いで「101～200万円」33.3%、「201～300万円」11.3%が続いています。200万円以下が71.6%となっています。

図表 2-8 本人の1年間の手取り額



(7) 施設等への入所・入居の検討状況

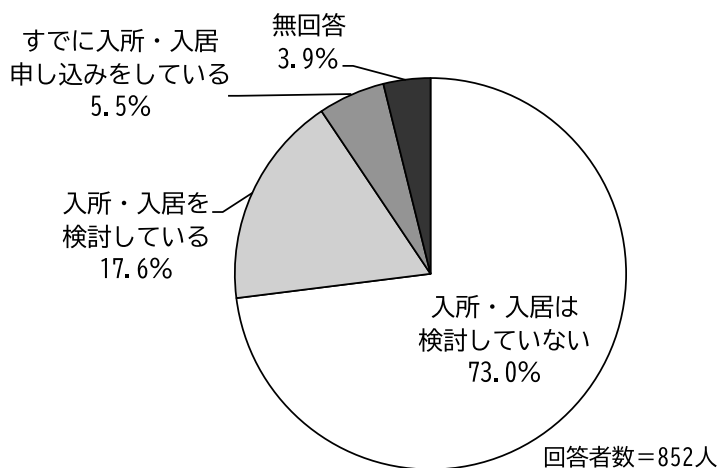
問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つを選択)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」73.0%が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」17.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」5.5%となっています。

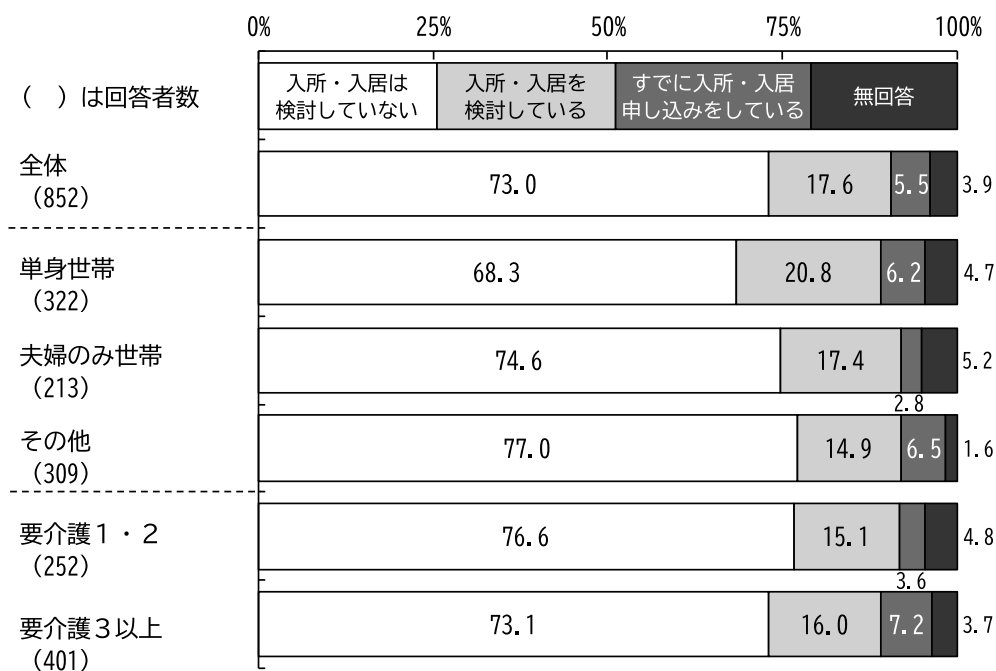
世帯類型別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、その他が6.5%、単身世帯が6.2%となっています。要介護度別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、要介護3以上で7.2%となっています。

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

図表 2-9 施設等への入所・入居の検討状況



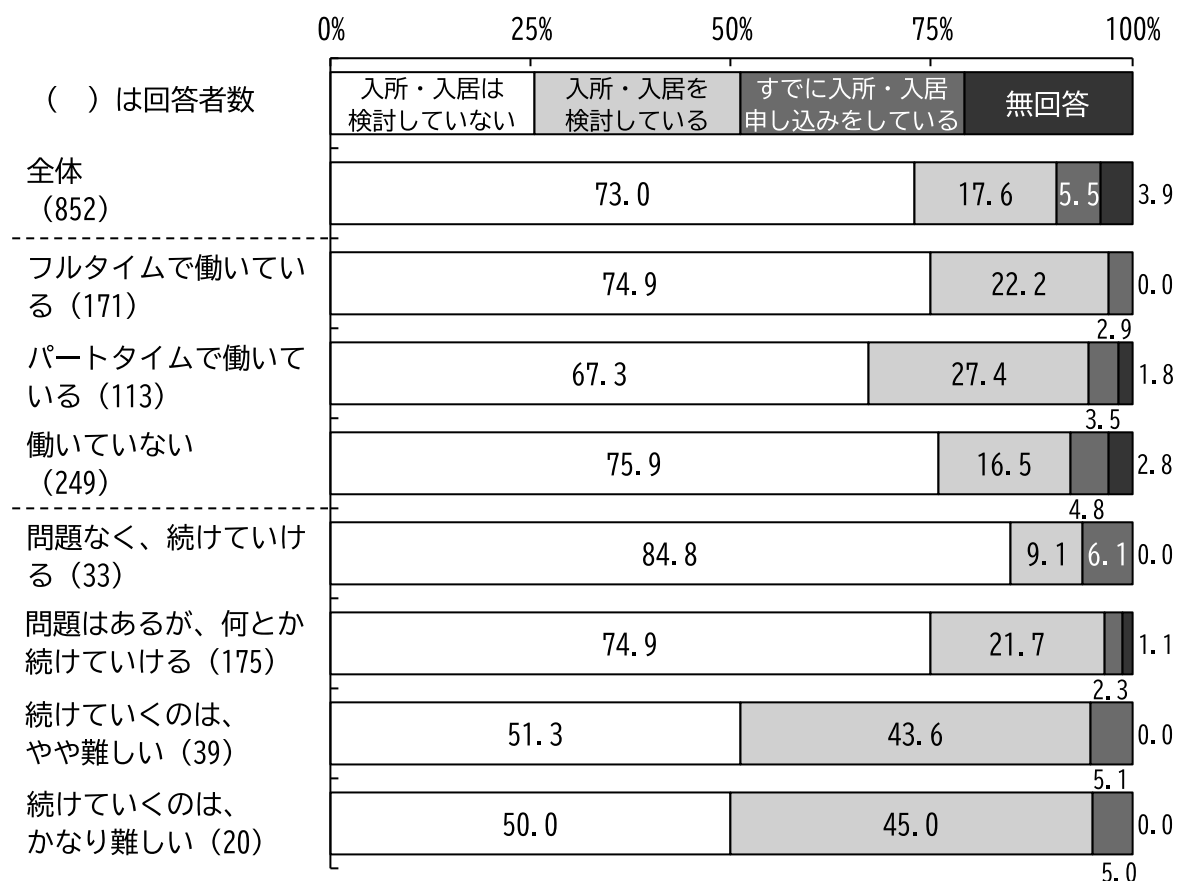
図表 2-10 施設等への入所・入居の検討状況【世帯類型別/要介護度別】



主な介護者の現在の勤務形態別(138 ページ)にみると、「入所・入居を検討している」割合は、パートタイム 27.4%、フルタイム 22.2%となっています。

主な介護者の今後の見込み別(142 ページ)でみると、「入所・入居を検討している」割合が高いのは、続けていくのはやや難しい 43.6%、続けていくのはかなり難しい 45.0%となっています。

図表 2-11 施設等への入所・入居の検討状況
【主な介護者の現在の勤務形態別／主な介護者の今後の見込み別】



※選択肢「主な介護者に確認しないと、わからない」は、回答者数が少ないため、掲載を省略しています。

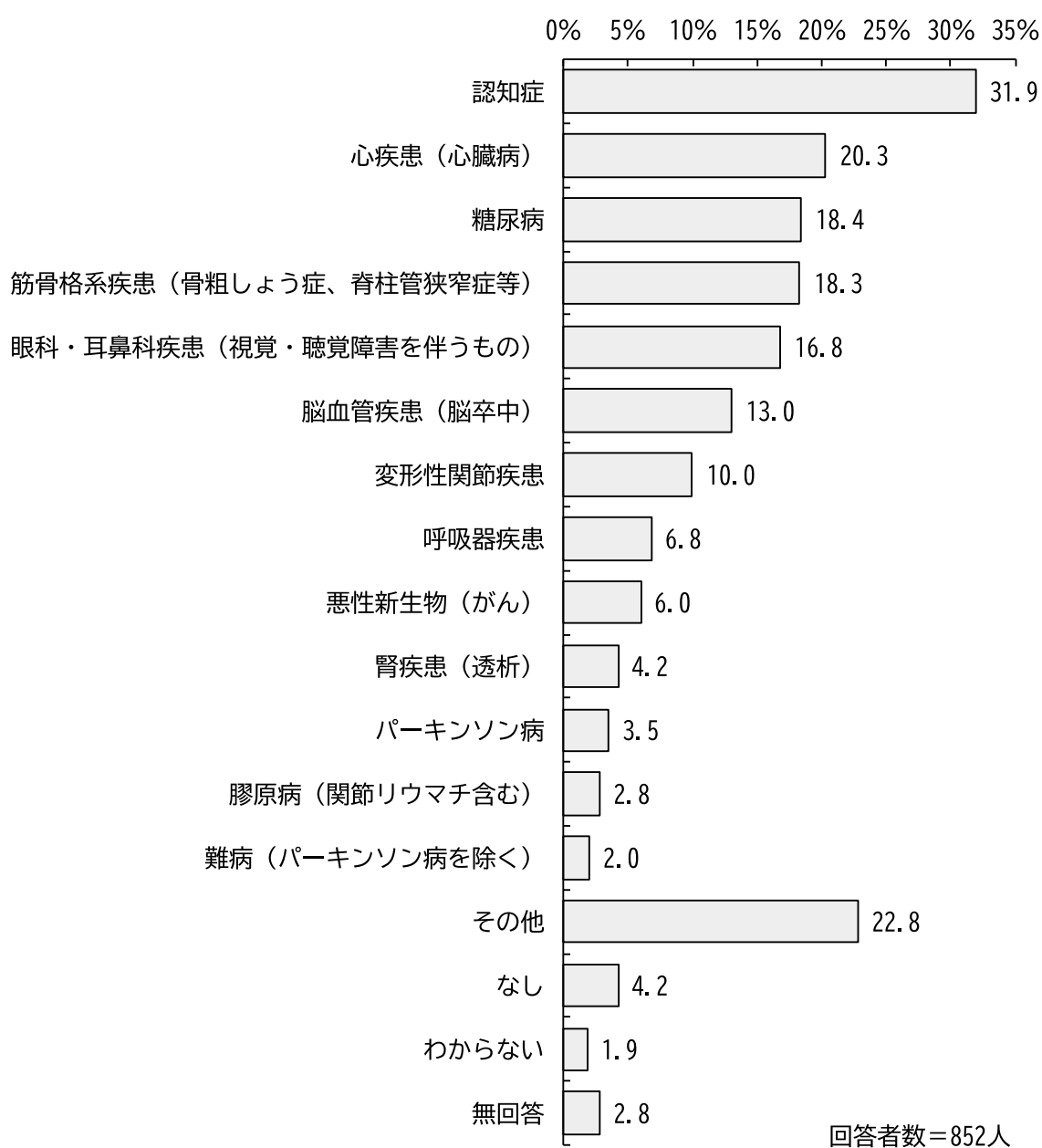
(8) 現在抱えている傷病

問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

現在抱えている傷病は、「認知症」31.9%が最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」20.3%、「糖尿病」18.4%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」18.3%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」16.8%、「脳血管疾患(脳卒中)」13.0%が続いています。一方、「なし」は4.2%となっています。

年齢別にみると、80歳以上では「認知症」の割合が高くなっています。

図表 2-12 現在抱えている傷病（複数回答）



図表 2-13 現在抱えている傷病【年齢別】

		回答者数	認知症	心疾患 (心臓病)	糖尿病	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	脳血管疾患 (脳卒中)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物 (がん)
全体		852 100.0	272 31.9	173 20.3	157 18.4	156 18.3	143 16.8	111 13.0	85 10.0	58 6.8	51 6.0
年齢別	65歳未満	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	12 100.0	2 16.7	0 0.0	3 25.0	0 0.0	2 16.7	6 50.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
	70～74歳	62 100.0	15 24.2	7 11.3	12 19.4	7 11.3	6 9.7	16 25.8	3 4.8	6 9.7	8 12.9
	75～79歳	105 100.0	19 18.1	19 18.1	19 18.1	14 13.3	12 11.4	26 24.8	6 5.7	9 8.6	7 6.7
	80～84歳	177 100.0	56 31.6	24 13.6	42 23.7	32 18.1	27 15.3	23 13.0	18 10.2	9 5.1	14 7.9
	85～89歳	236 100.0	83 35.2	55 23.3	42 17.8	50 21.2	55 23.3	27 11.4	30 12.7	19 8.1	11 4.7
	90歳以上	257 100.0	95 37.0	68 26.5	39 15.2	53 20.6	41 16.0	13 5.1	28 10.9	15 5.8	10 3.9

		回答者数	腎疾患 (透析)	パーキンソン病	膠原病 (関節リウマチ含む)	難病 (パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体		852 100.0	36 4.2	30 3.5	24 2.8	17 2.0	194 22.8	36 4.2	16 1.9	24 2.8
年齢別	65歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	62 100.0	3 4.8	1 1.6	3 4.8	2 3.2	18 29.0	1 1.6	1 1.6	2 3.2
	75～79歳	105 100.0	4 3.8	10 9.5	2 1.9	6 5.7	25 23.8	3 2.9	2 1.9	6 5.7
	80～84歳	177 100.0	11 6.2	5 2.8	9 5.1	3 1.7	32 18.1	7 4.0	2 1.1	6 3.4
	85～89歳	236 100.0	6 2.5	9 3.8	5 2.1	5 2.1	44 18.6	6 2.5	8 3.4	4 1.7
	90歳以上	257 100.0	11 4.3	5 1.9	4 1.6	1 0.4	70 27.2	19 7.4	3 1.2	5 1.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(9) 令和6年6月の1か月間における介護保険サービス利用の有無

問10 令和6年6月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

令和6年6月の1か月間における介護保険サービス利用の有無については、「利用した」84.4%、「利用していない」13.4%となっています。

要介護度別にみると、「利用した」人の割合は、要介護3以上が要介護1・2を9.6ポイント上回っています。

図表 2-14 介護保険サービス利用の有無

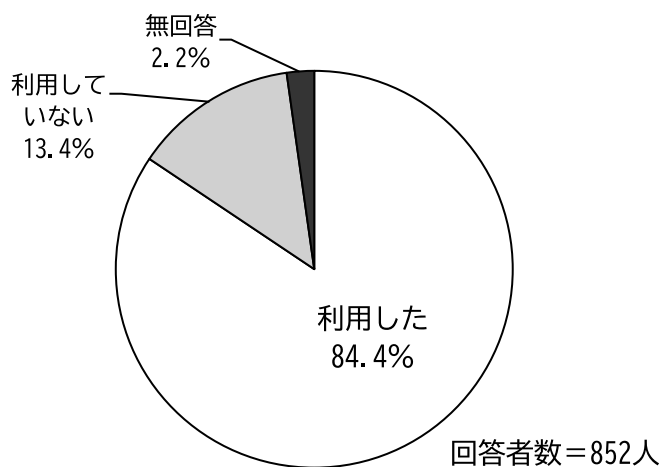
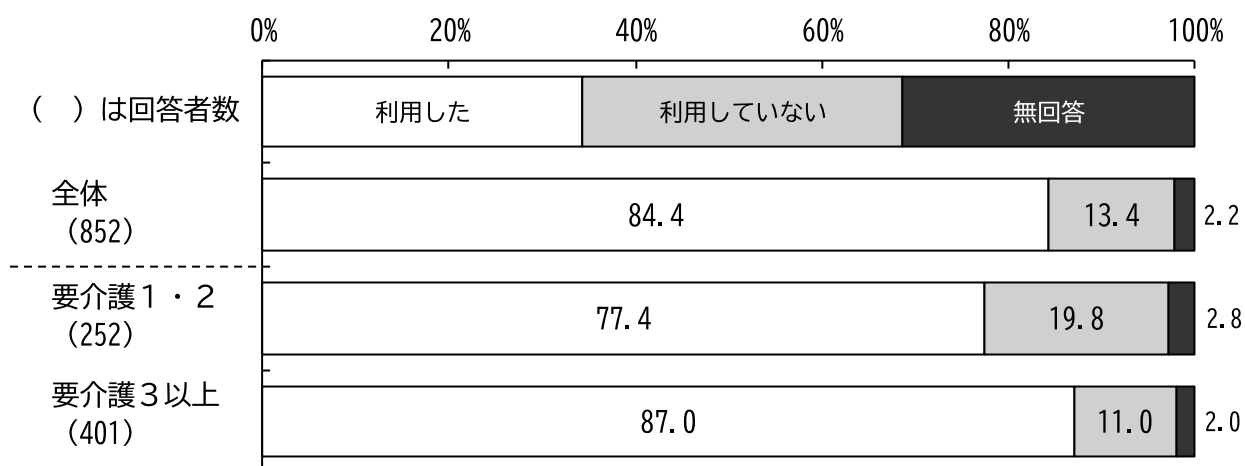


表 2-15 介護保険サービス利用の有無【要介護度別】



(10) 介護保険サービス別の利用状況

問 11 問 10 で「1 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和6年6月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください。（それぞれ1つに○）

介護保険サービス別の利用状況については、『利用している』割合の第1位のサービス種別は、E通所介護(デイサービス)58.1%で、その内訳は、「週2回程度」18.6%が最も高く、次いで「週3回程度」16.4%、「週1回程度」8.9%が続いています。

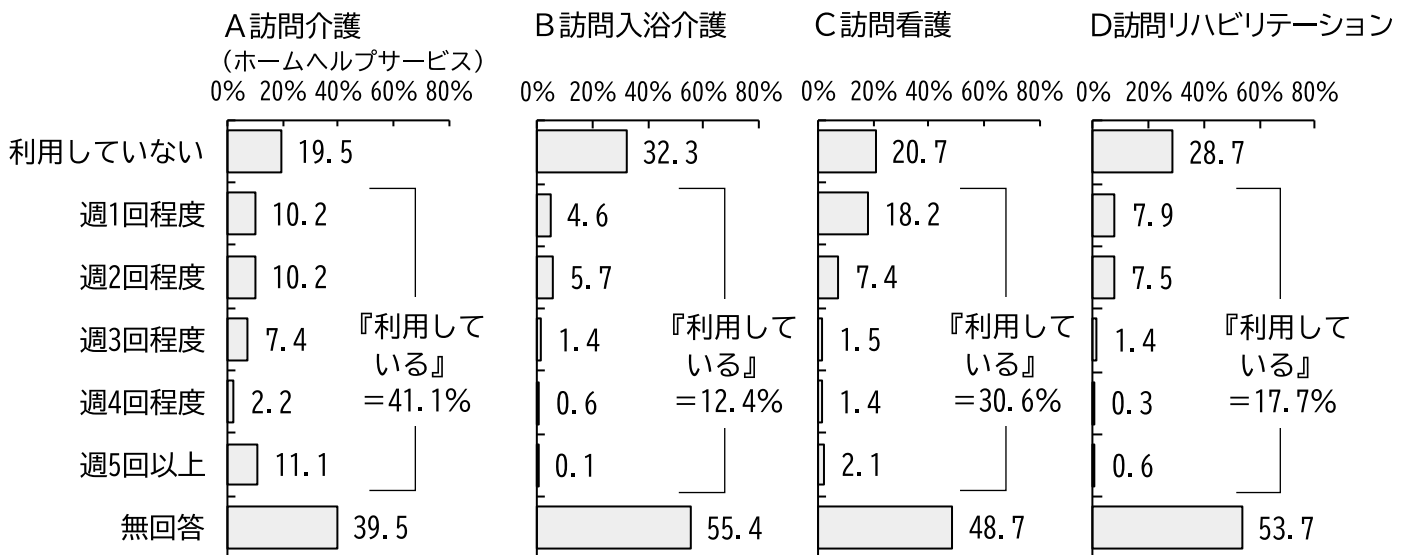
第2位は、A訪問介護(ホームヘルプサービス)41.1%で、その内訳は、「週5回以上」11.1%が最も高く、次いで「週1回程度」「週2回程度」がともに10.2%で続いています。

第3位は、C訪問看護 30.6%で、その内訳は、「週1回程度」18.2%が最も高く、次いで「週2回程度」7.4%が続いています。

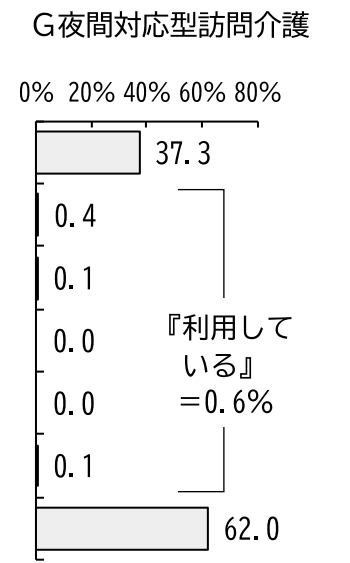
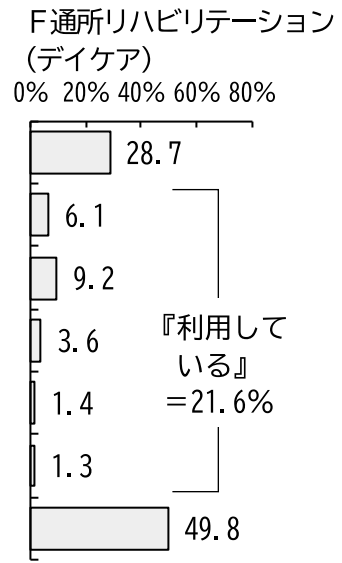
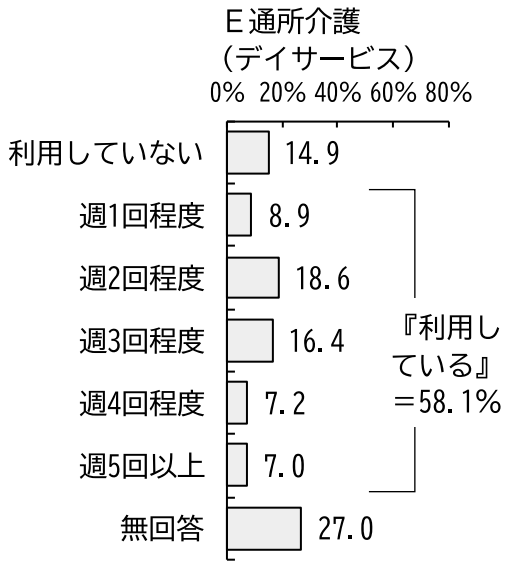
第4位以降は、F通所リハビリテーション(デイケア)21.6%、D訪問リハビリテーション17.7%、K短期入所(ショートステイ)14.7%、H定期巡回・随時対応型訪問介護看護 12.9%、B訪問入浴介護 12.4%、L居宅療養管理指導 11.5%の順となっています。

一方、I小規模多機能型居宅介護は1.7%、J看護小規模多機能型居宅介護は1.3%、G夜間対応型訪問介護は0.6%とわずかな利用となっています。

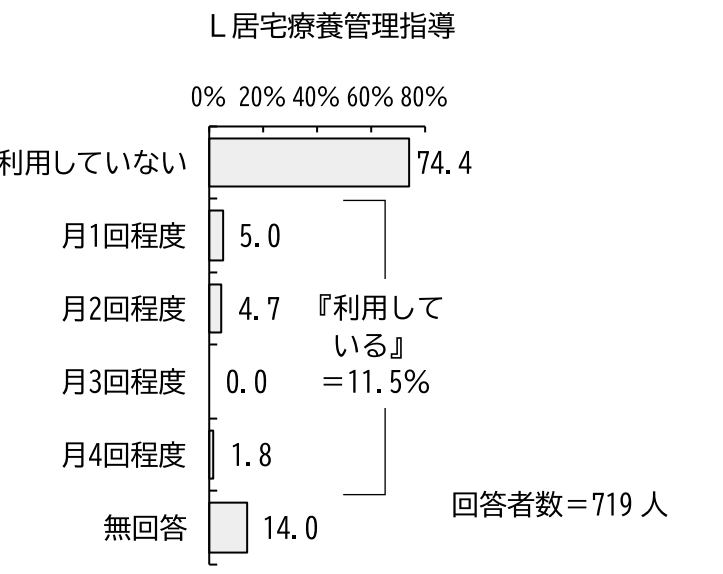
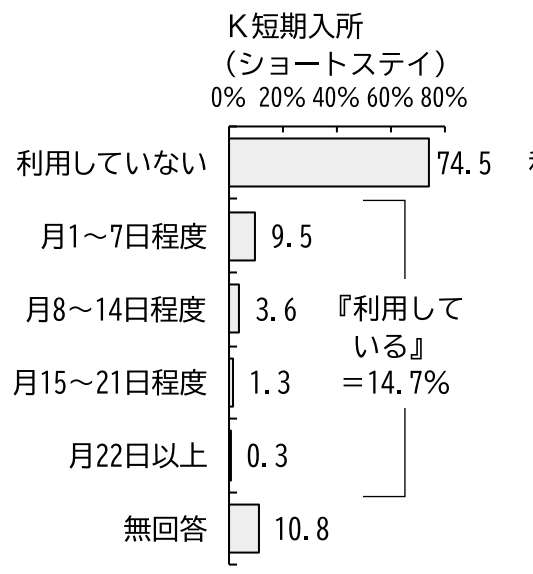
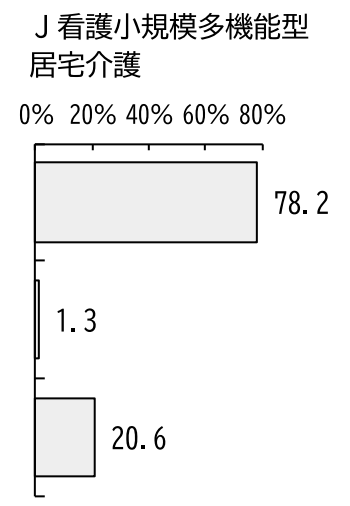
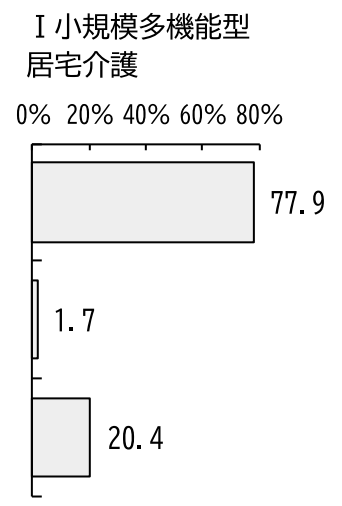
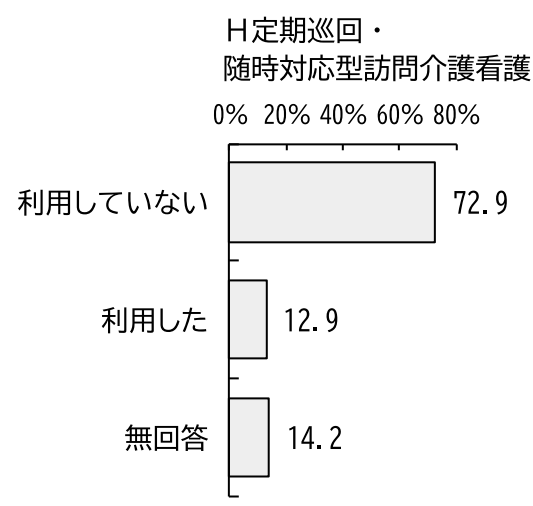
図表 2-16 介護保険サービス別の利用状況



回答者数=719人



※ G 夜間対応型訪問介護は訪問のあった回数を回答しています。



回答者数=719人

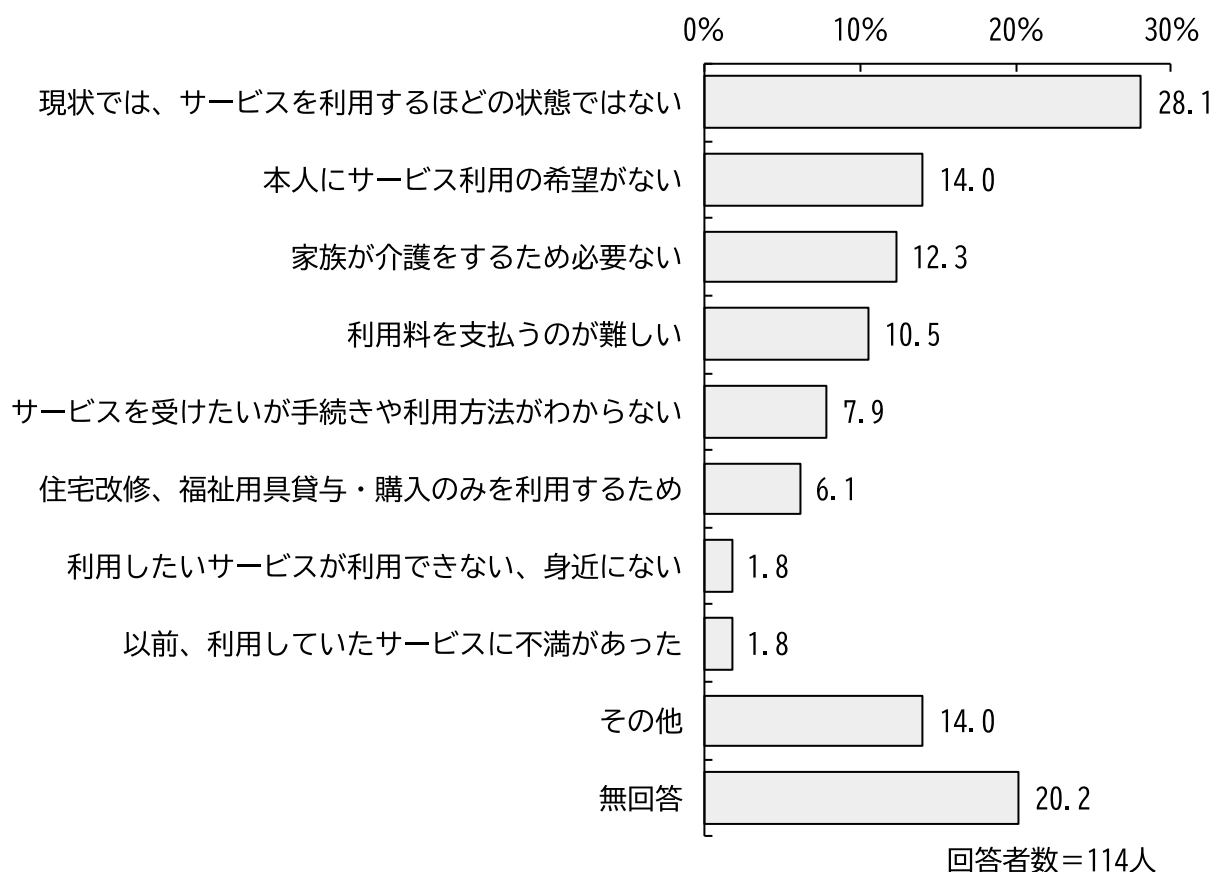
(11) 介護保険サービスを利用していない理由

問 12 問 10 で「2 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」28.1%が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」14.0%、「家族が介護をするため必要ない」12.3%、「利用料を支払うのが難しい」10.5%が続いています。

要介護度別にみると、要介護1・2の第1位は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」30.0%で、要介護3以上は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「家族が介護をするため必要ない」がともに25.0%で同率1位となっています。

図表 2-17 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



図表 2-18 介護保険サービスを利用していない理由【要介護度別】

		回答者数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	い 本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみに利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体		114 100.0	32 28.1	16 14.0	14 12.3	12 10.5	9 7.9	7 6.1	2 1.8	2 1.8	16 14.0	23 20.2
要介護度別	要介護 1・2	50 100.0	15 30.0	8 16.0	2 4.0	6 12.0	5 10.0	0 0.0	2 4.0	2 4.0	9 18.0	10 20.0
	要介護 3以上	44 100.0	11 25.0	3 6.8	11 25.0	2 4.5	2 4.5	6 13.6	0 0.0	0 0.0	7 15.9	9 20.5

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(12) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

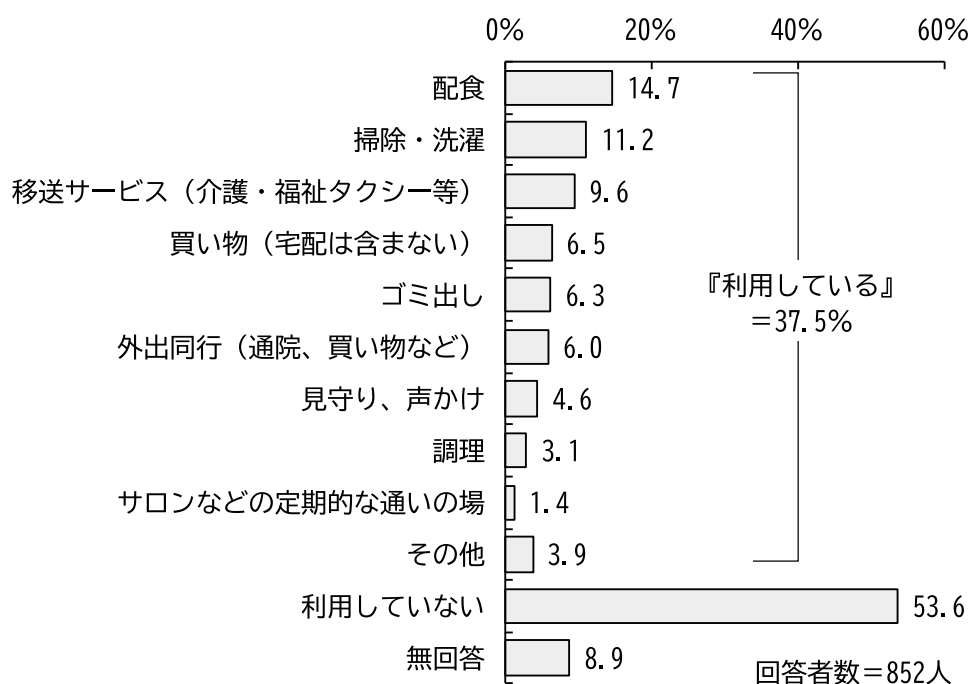
問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」53.6%となっています。『利用している』は37.5%で、その内訳は、「配食」14.7%が最も高く、次いで「掃除・洗濯」11.2%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」9.6%が続いています。

性別でみると、男性は「調理」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」「外出同行」の割合が女性をやや上回っている他は、女性の利用割合が男性を上回っています。

図表 2-19 「介護保険サービス以外」の支援・サービス (複数回答)



※『利用している』 (%) = 全体 (%) - 「利用していない」 (%) - 「無回答」 (%)

図表 2-20 「介護保険サービス以外」の支援・サービス【性別】

		回答者数	配食	掃除・洗濯	移送サービス	買い物	ゴミ出し	外出同行	見守り、声かけ	調理	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		852 100.0	125 14.7	95 11.2	82 9.6	55 6.5	54 6.3	51 6.0	39 4.6	26 3.1	12 1.4	33 3.9	457 53.6	76 8.9
性別	男性	313 100.0	36 11.5	27 8.6	32 10.2	19 6.1	11 3.5	19 6.1	15 4.8	13 4.2	3 1.0	11 3.5	174 55.6	31 9.9
	女性	534 100.0	88 16.5	67 12.5	50 9.4	35 6.6	43 8.1	32 6.0	24 4.5	13 2.4	9 1.7	22 4.1	281 52.6	44 8.2
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

※上段：回答者数 (人)、下段：割合 (%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(13) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

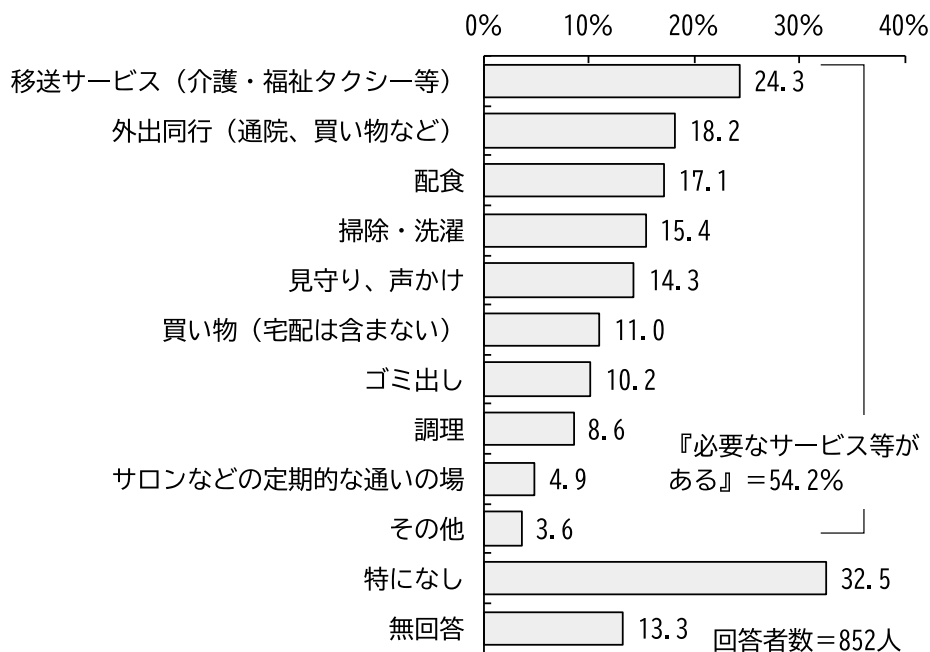
問 14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」24.3%が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」18.2%、「配食」17.1%、「掃除・洗濯」15.4%、「見守り、声かけ」14.3%が続いています。一方、「特になし」は32.5%となっています。

要介護度別でみると、要介護3以上は「特になし」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「配食」「外出同行」「ゴミ出し」の割合が要介護1・2を上回っている他は、要介護1・2が要介護3以上の割合を上回っています。

図表 2-21 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）



※『必要なサービス等がある』(%) = 全体 (%) - 「特になし」(%) - 「無回答」(%)

図表 2-22 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス【要介護度別】

	回答者数	移送サービス	外出同行	配食	掃除・洗濯	見守り、声かけ	買い物	ゴミ出し	調理	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	852	207	155	146	131	122	94	87	73	42	31	277	113
	100.0	24.3	18.2	17.1	15.4	14.3	11.0	10.2	8.6	4.9	3.6	32.5	13.3
要介護度別	要介護1・2	252	52	39	33	45	34	26	21	13	11	68	51
		100.0	20.6	15.5	13.1	17.9	13.5	10.3	8.3	5.2	4.4	27.0	20.2
	要介護3以上	401	103	72	68	51	39	38	25	18	15	149	43
		100.0	25.7	18.0	17.0	12.7	9.7	9.5	6.2	4.5	3.7	37.2	10.7

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(14) 訪問診療の利用の有無

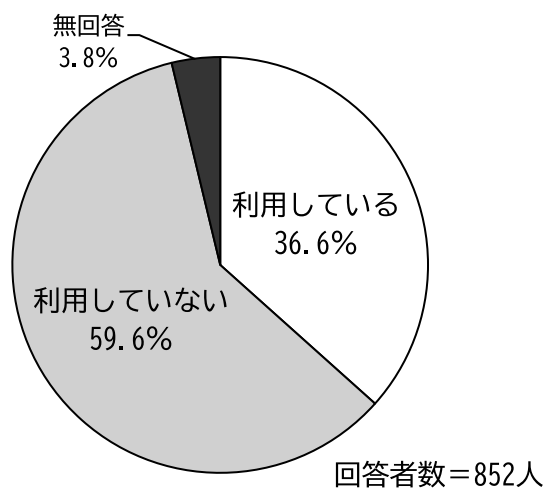
問 15 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。
（1つを選択）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

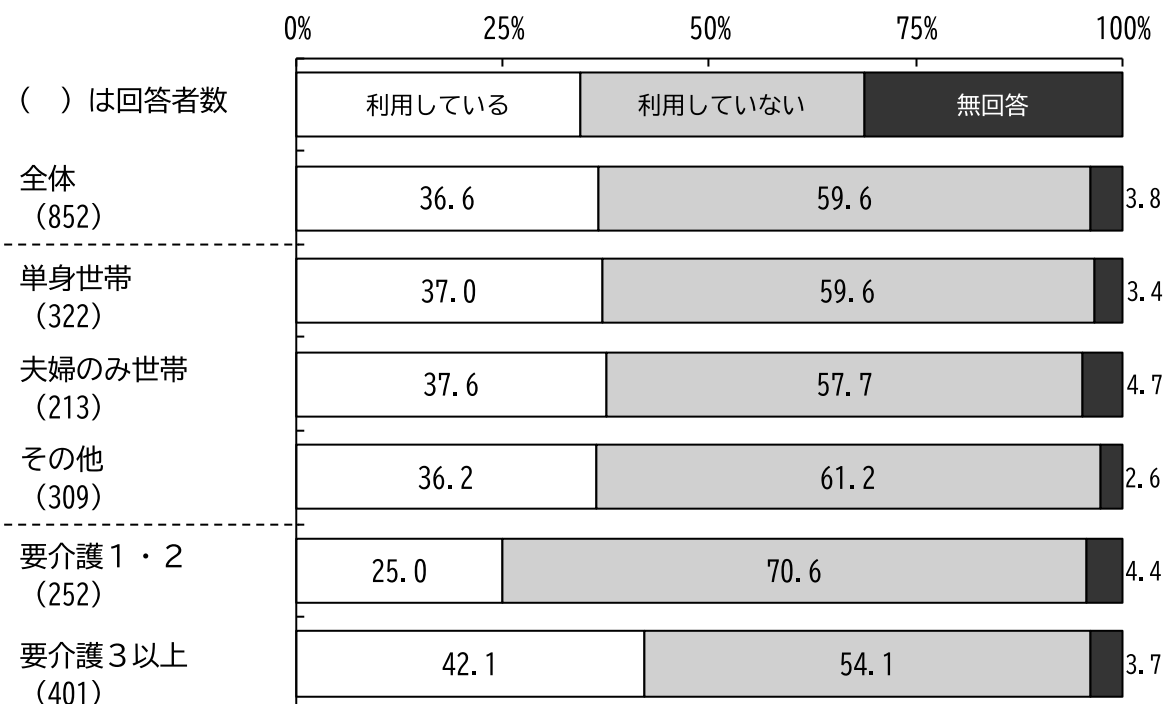
訪問診療の利用の有無は、「利用している」36.6%、「利用していない」59.6%となっています。

世帯類型別に「利用している」割合をみると、夫婦のみ世帯が他よりやや高く、要介護度別にみると、「利用している」割合は要介護3以上が42.1%で要介護1・2を17.1ポイント上回っています。

図表 2-23 訪問診療の利用の有無



図表 2-24 訪問診療の利用の有無【世帯類型別／要介護度別】



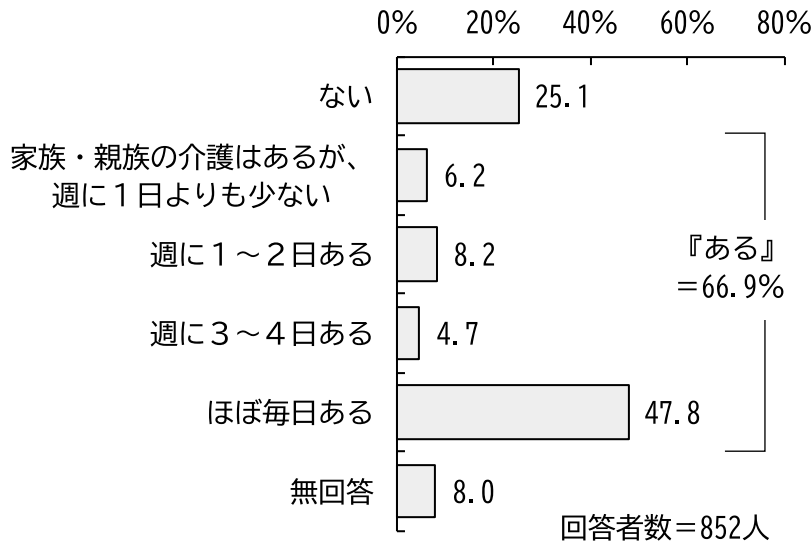
(15) 家族・親族からの1週間あたりの介護

問 16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

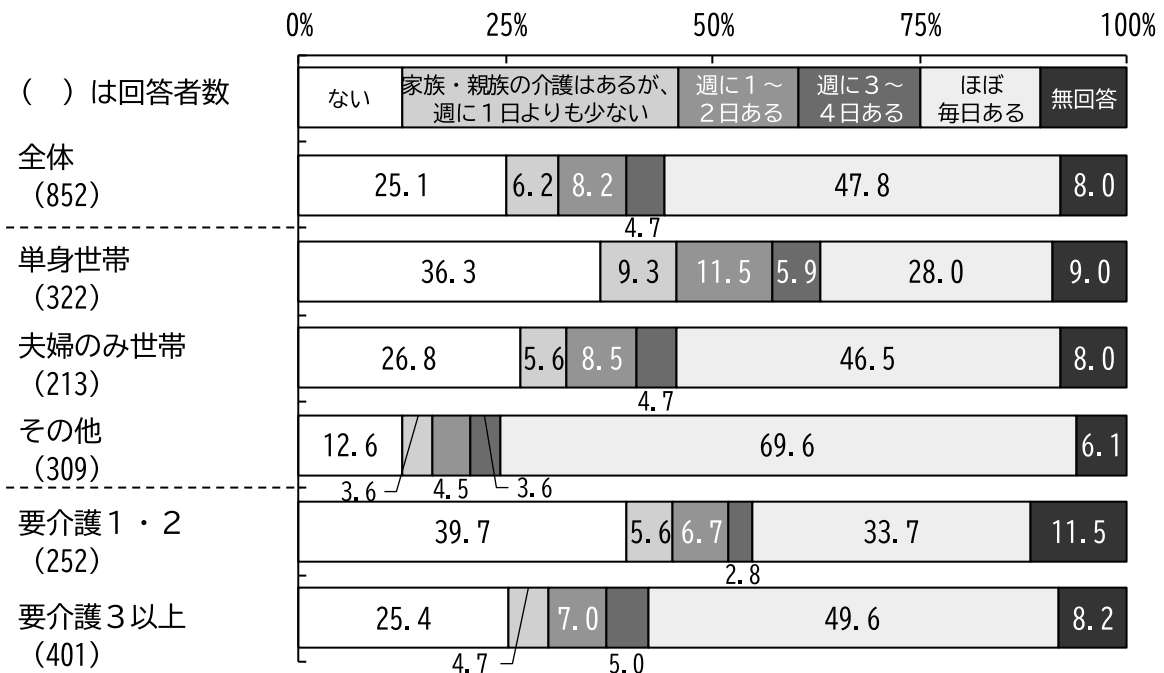
家族・親族からの1週間あたりの介護については、『ある』が66.9%で、その内訳は「ほぼ毎日ある」47.8%が最も高く、次いで「週に1～2日ある」8.2%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」6.2%が続いています。

世帯類型別にみると、その他世帯で「ほぼ毎日ある」が69.6%と他より高くなっています。要介護度別にみると、要介護3以上で「ほぼ毎日ある」が49.6%と他より高くなっています。

図表 2-25 家族・親族からの1週間あたりの介護



図表 2-26 家族・親族からの1週間あたりの介護【世帯類型別/要介護度別】



2 主な介護者について

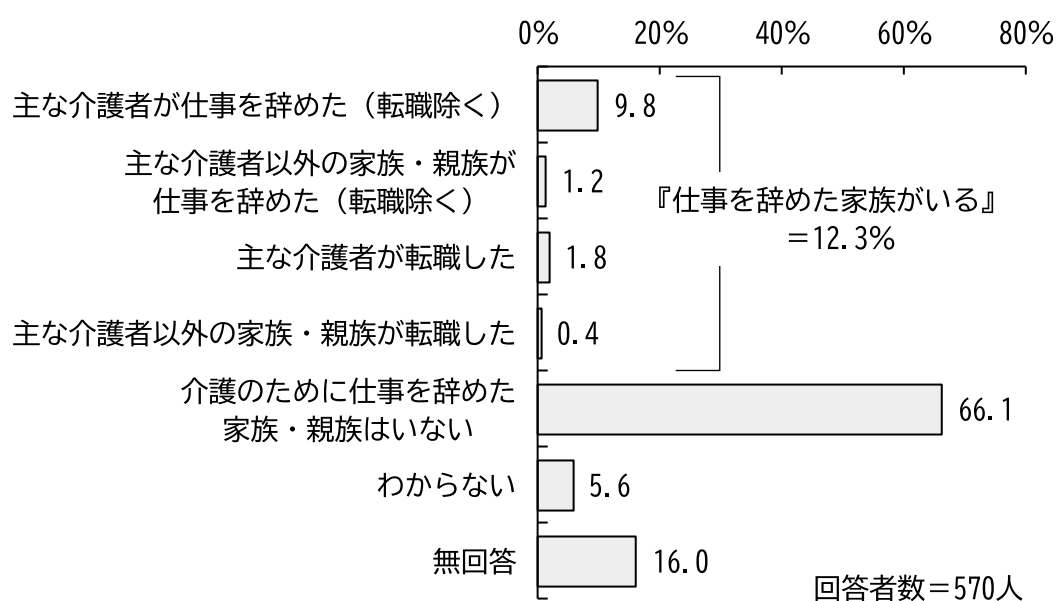
(1) 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が66.1%となっています。『仕事を辞めた家族がいる』は12.3%で、その内訳は、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」9.8%が最も高くなっています。

図表 2-27 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族（複数回答）



※『仕事を辞めた家族がいる』(%) = 全体(%) - 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(%) - 「わからない」(%) - 「無回答」(%)

(2) 主な介護者

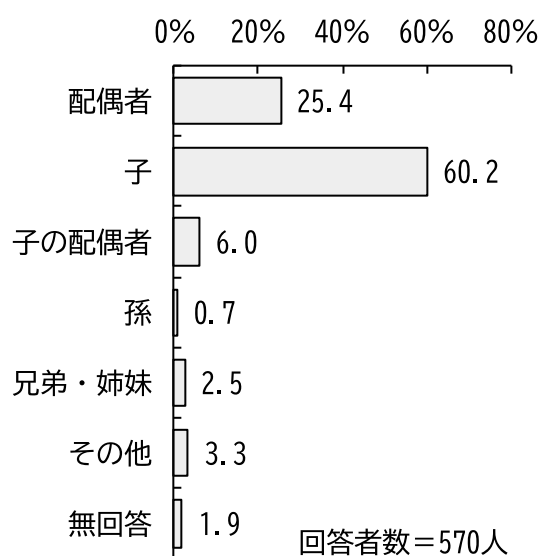
問2 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

主な介護者については、「子」60.2%が最も高く、次いで「配偶者」25.4%、「子の配偶者」6.0%が続いています。

本人の性別でみると、男性は「配偶者」47.1%が最も高く、一方、女性は「子」70.3%が最も高くなっています。

本人の年齢別でみると、概ね年齢が上がるにつれて「配偶者」の割合が低くなり、「子」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 2-28 主な介護者



図表 2-29 主な介護者【本人の性別／本人の年齢別】

		回答者数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		570 100.0	145 25.4	343 60.2	34 6.0	4 0.7	14 2.5	19 3.3	11 1.9
本人の性別	男性	189 100.0	89 47.1	77 40.7	3 1.6	0 0.0	8 4.2	6 3.2	6 3.2
	女性	377 100.0	54 14.3	265 70.3	31 8.2	4 1.1	6 1.6	12 3.2	5 1.3
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
本人の年齢別	65歳未満	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	8 100.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	38 100.0	24 63.2	3 7.9	0 0.0	0 0.0	7 18.4	1 2.6	3 7.9
	75～79歳	58 100.0	39 67.2	12 20.7	2 3.4	0 0.0	1 1.7	3 5.2	1 1.7
	80～84歳	115 100.0	33 28.7	67 58.3	4 3.5	1 0.9	2 1.7	5 4.3	3 2.6
	85～89歳	156 100.0	28 17.9	108 69.2	11 7.1	1 0.6	1 0.6	7 4.5	0 0.0
	90歳以上	194 100.0	16 8.2	149 76.8	17 8.8	2 1.0	3 1.5	3 1.5	4 2.1

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(3) 主な介護者の性別と年齢

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

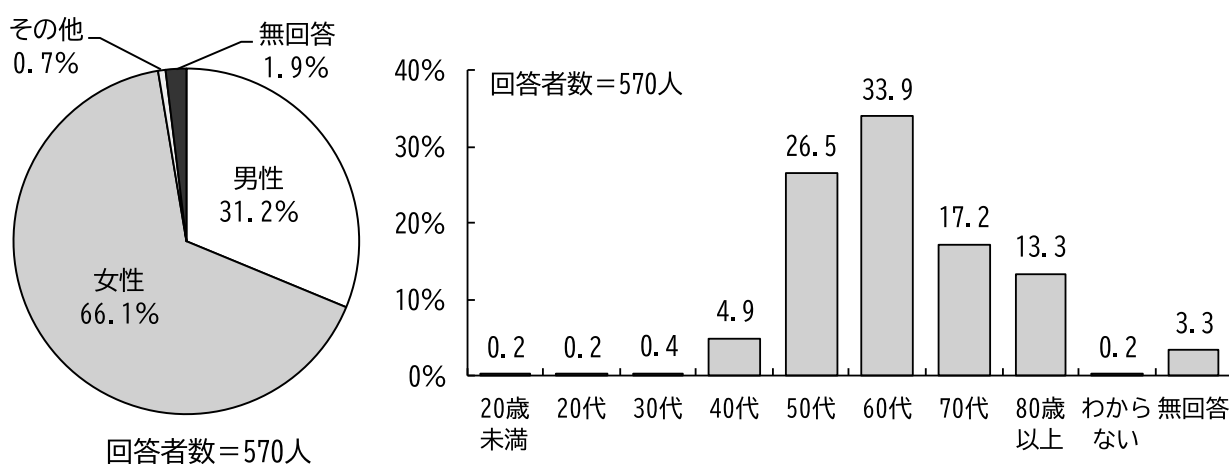
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

主な介護者の性別は、「男性」31.2%、「女性」66.1%となっています。

主な介護者の年齢は、「60代」33.9%が最も高く、次いで「50代」26.5%、「70代」17.2%、「80歳以上」13.3%が続いています。

主な介護者の年齢を性別で見ると、60代以上では男性の割合が女性より高くなっています。40代と50代では女性の割合が男性より高くなっています。

図表 2-30 主な介護者の性別と年齢



図表 2-31 主な介護者の年齢【主な介護者の性別】

		回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		570 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	28 4.9	151 26.5	193 33.9	98 17.2	76 13.3	1 0.2	19 3.3
主な介護者の性別	男性	178 100.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	5 2.8	41 23.0	61 34.3	32 18.0	31 17.4	1 0.6	5 2.8
	女性	377 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	23 6.1	110 29.2	129 34.2	64 17.0	44 11.7	0 0.0	6 1.6
	その他	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

主な介護者の年齢を本人の年齢別にみると、本人の年齢が 70～79 歳では主な介護者の年齢が「70 代」の割合が高く、主な介護者が配偶者であることが考えられます。

本人の年齢が 80～89 歳は主な介護者の年齢が「50 代」「60 代」、本人の年齢が 90 歳以上では主な介護者の年齢が「60 代」の割合が高く、主な介護者が子や子の配偶者であることが考えられます。

図表 2-32 主な介護者の年齢【本人の年齢別】

		回答者数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		570 100.0	1 0.2	1 0.2	2 0.4	28 4.9	151 26.5	193 33.9	98 17.2	76 13.3	1 0.2	19 3.3
本人の年齢別	65歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.3	1 2.6	4 10.5	29 76.3	0 0.0	0 0.0	2 5.3
	75～79歳	58 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	10 17.2	6 10.3	2 3.4	30 51.7	7 12.1	0 0.0	2 3.4
	80～84歳	115 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	7 6.1	52 45.2	15 13.0	8 7.0	28 24.3	0 0.0	4 3.5
	85～89歳	156 100.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	5 3.2	62 39.7	56 35.9	5 3.2	25 16.0	0 0.0	2 1.3
	90歳以上	194 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	2 1.0	29 14.9	110 56.7	26 13.4	16 8.2	1 0.5	9 4.6

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

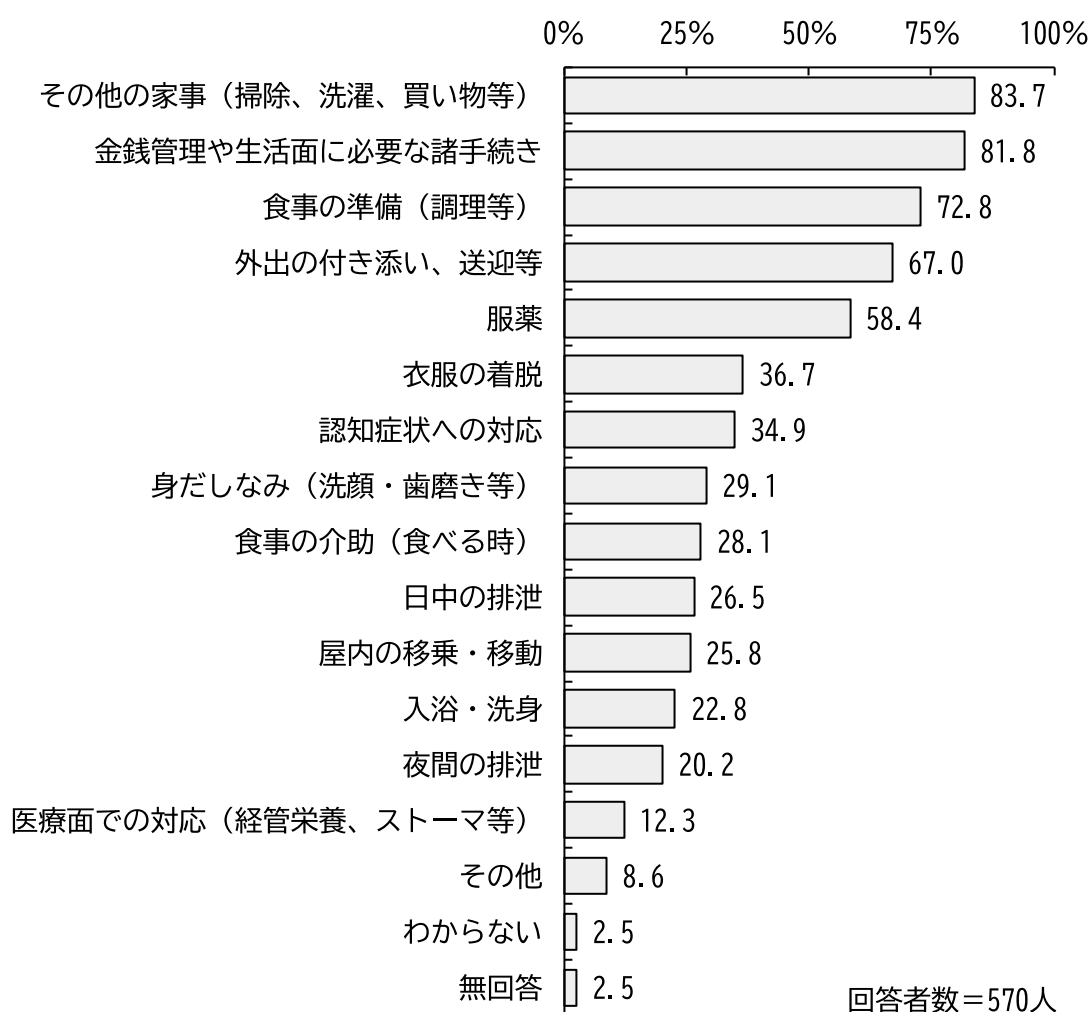
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(4) 主な介護者が行っている介護等

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数選択可)

主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」83.7%が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」81.8%、「食事の準備(調理等)」72.8%、「外出の付き添い、送迎等」67.0%、「服薬」58.4%が続いています。

図表 2-33 主な介護者が行っている介護等 (複数回答)



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

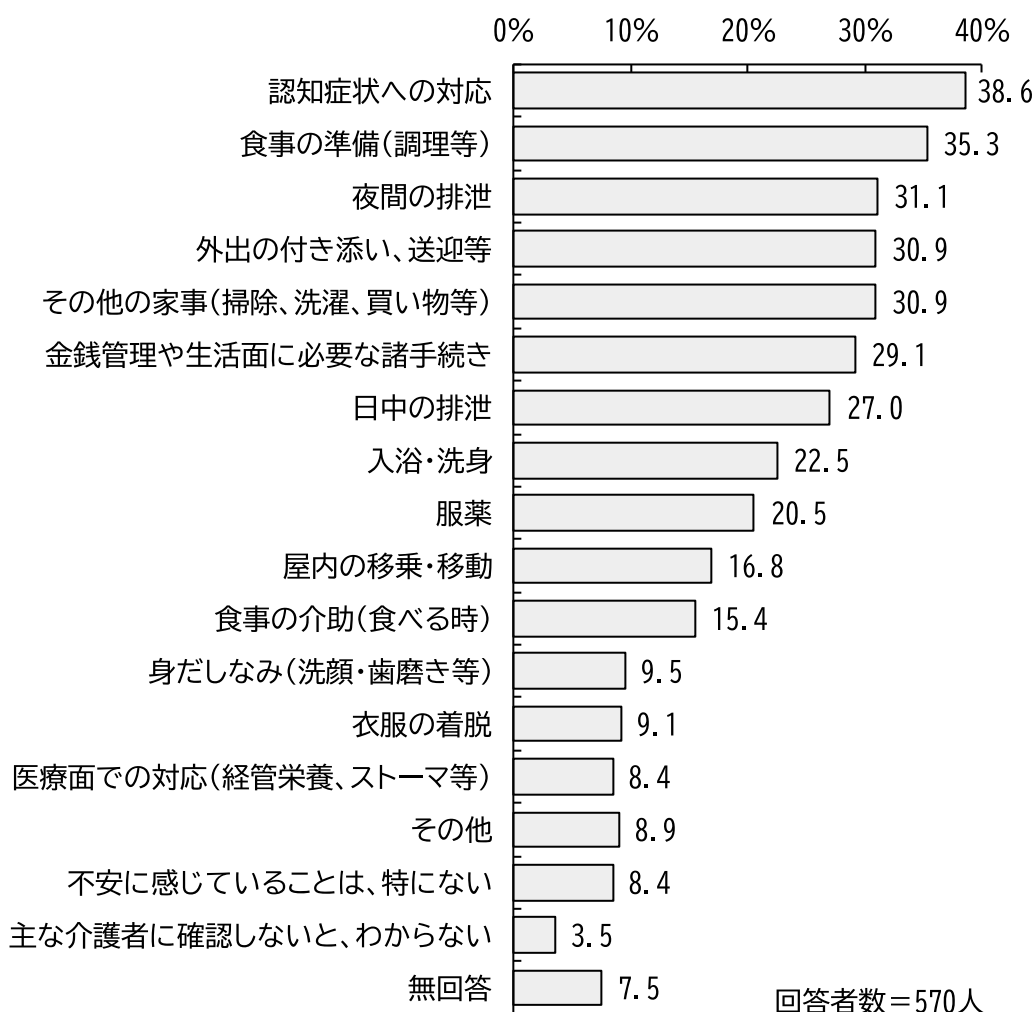
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)

(3つまで選択可)

主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」38.6%が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」35.3%、「夜間の排泄」31.1%、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」がともに30.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」29.1%、「日中の排泄」27.0%、「入浴・洗身」22.5%、「服薬」20.5%が続いています。

主な介護者の今後の見込み別(142ページ)にみると、問題なく、続けていける方の上位3位は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「食事の準備(調理等)」「外出の付き添い、送迎等」となっています。問題はあるが、何とか続けていける方の上位3位は、「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」となっています。続けていくのはやや難しい方と、続けていくのはかなり難しい方の第1位は「認知症状への対応」、第2位は「夜間の排泄」、第3位は「食事の準備(調理等)」と「日中の排泄」となっています。

図表 2-34 主な介護者が不安に感じる介護等 (複数回答)



図表 2-35 主な介護者が不安に感じる介護等【主な介護者の今後の見込み別】

		回答者数	認知症状への対応	食事の準備（調理等）	夜間の排泄	外出の付き添い、送迎等	買物等 その他の家事（掃除、洗濯、	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	日中の排泄	入浴・洗身	服薬
全体		570 100.0	220 38.6	201 35.3	177 31.1	176 30.9	176 30.9	166 29.1	154 27.0	128 22.5	117 20.5
主な介護者の今後の見込み別	問題なく、 続けていける	33 100.0	8 24.2	12 36.4	8 24.2	11 33.3	10 30.3	13 39.4	7 21.2	5 15.2	4 12.1
	問題はあるが、何とか 続けていける	175 100.0	76 43.4	62 35.4	53 30.3	49 28.0	49 28.0	54 30.9	45 25.7	42 24.0	37 21.1
	続けていくのは、 やや難しい	39 100.0	18 46.2	15 38.5	16 41.0	12 30.8	14 35.9	11 28.2	14 35.9	10 25.6	11 28.2
	続けていくのは、 かなり難しい	20 100.0	12 60.0	10 50.0	11 55.0	6 30.0	5 25.0	5 25.0	10 50.0	5 25.0	10 50.0
	主な介護者に確認 しないと、わからない	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3

		回答者数	屋内の移乗・移動	食事の介助（食べる時）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、 ストーマ等）	その他	不安に感じていることは、特 にない	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
全体		570 100.0	96 16.8	88 15.4	54 9.5	52 9.1	48 8.4	51 8.9	48 8.4	20 3.5	43 7.5
主な介護者の今後の見込み別	問題なく、 続けていける	33 100.0	3 9.1	2 6.1	1 3.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	8 24.2	1 3.0	2 6.1
	問題はあるが、何とか 続けていける	175 100.0	25 14.3	24 13.7	19 10.9	15 8.6	11 6.3	15 8.6	13 7.4	3 1.7	7 4.0
	続けていくのは、 やや難しい	39 100.0	8 20.5	6 15.4	5 12.8	3 7.7	2 5.1	5 12.8	1 2.6	0 0.0	2 5.1
	続けていくのは、 かなり難しい	20 100.0	4 20.0	3 15.0	5 25.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主な介護者に確認 しないと、わからない	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

(6) 主な介護者の現在の勤務形態

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

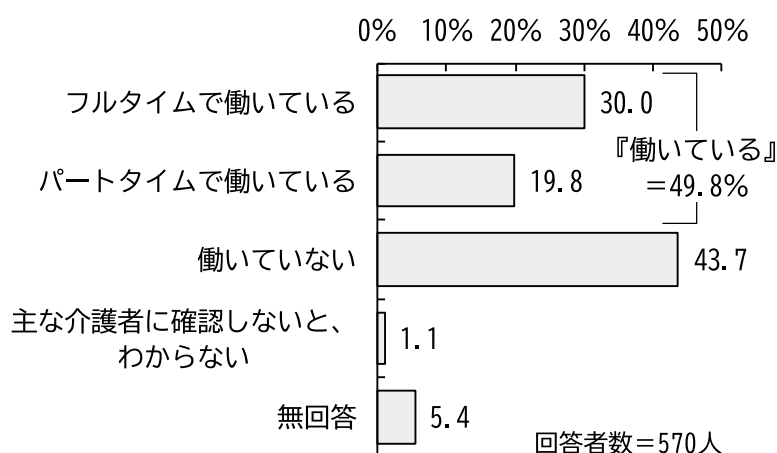
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の現在の勤務形態は、『働いている』が49.8%、「働いていない」が43.7%となっています。『働いている』方の内訳は、「フルタイムで働いている」30.0%、「パートタイムで働いている」19.8%となっています。

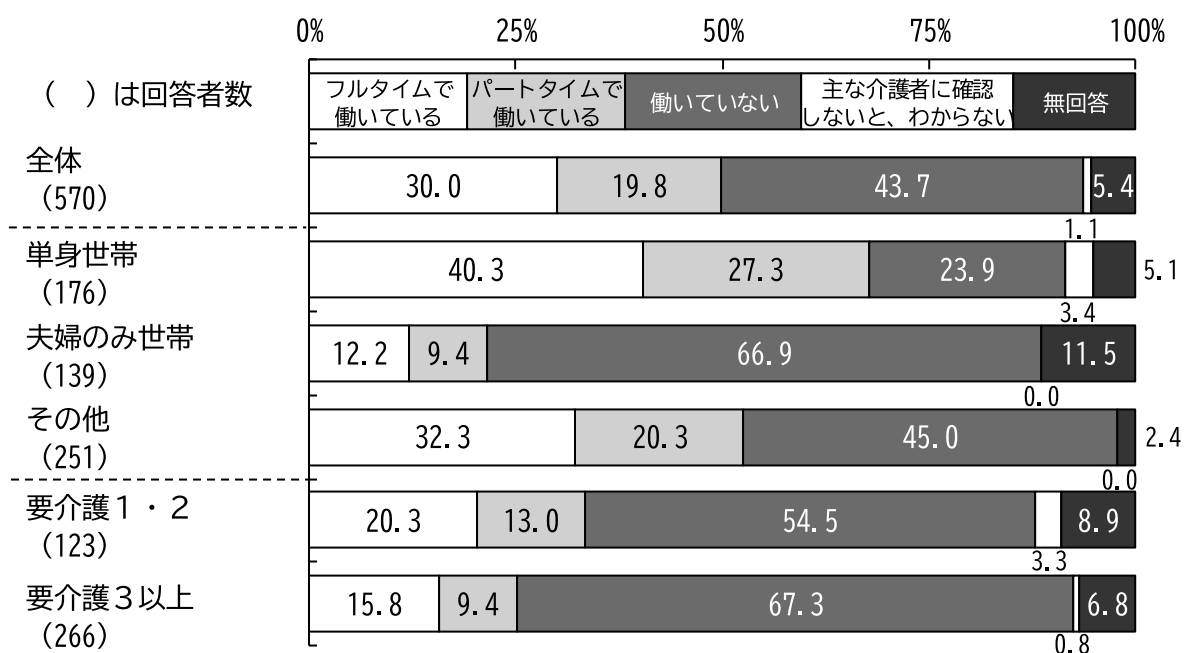
世帯類型別にみると、単身世帯では『働いている』が67.6%で「働いていない」23.9%を43.7ポイント上回っています。逆に、夫婦のみ世帯では「働いていない」が66.9%で『働いている』21.6%を45.3ポイント上回っています。

要介護度別にみると、要介護3以上は要介護1・2より「働いていない」割合が高くなっています。

図表 2-36 主な介護者の現在の勤務形態

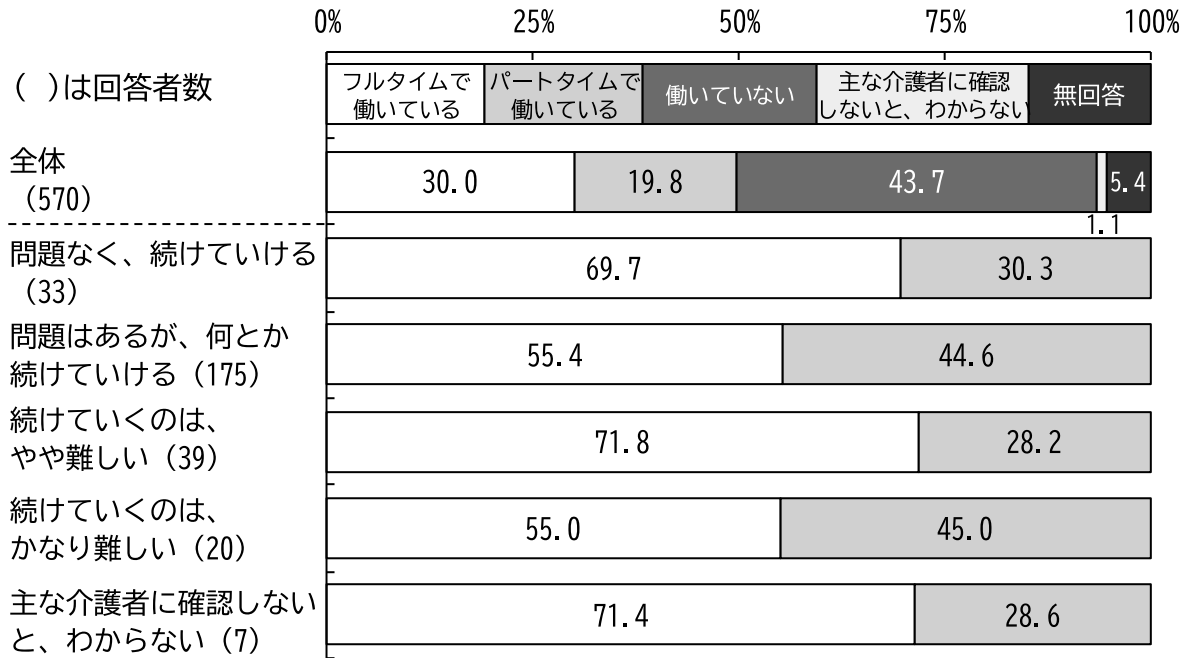


図表 2-37 主な介護者の現在の勤務形態【世帯類型別／要介護度別】



主な介護者の今後の見込み別(142 ページ)にみると、いずれの場合においても「フルタイムで働いている」割合は 5 割を超える状況となっています。

図表 2-38 主な介護者の現在の勤務形態【主な介護者の今後の見込み別】



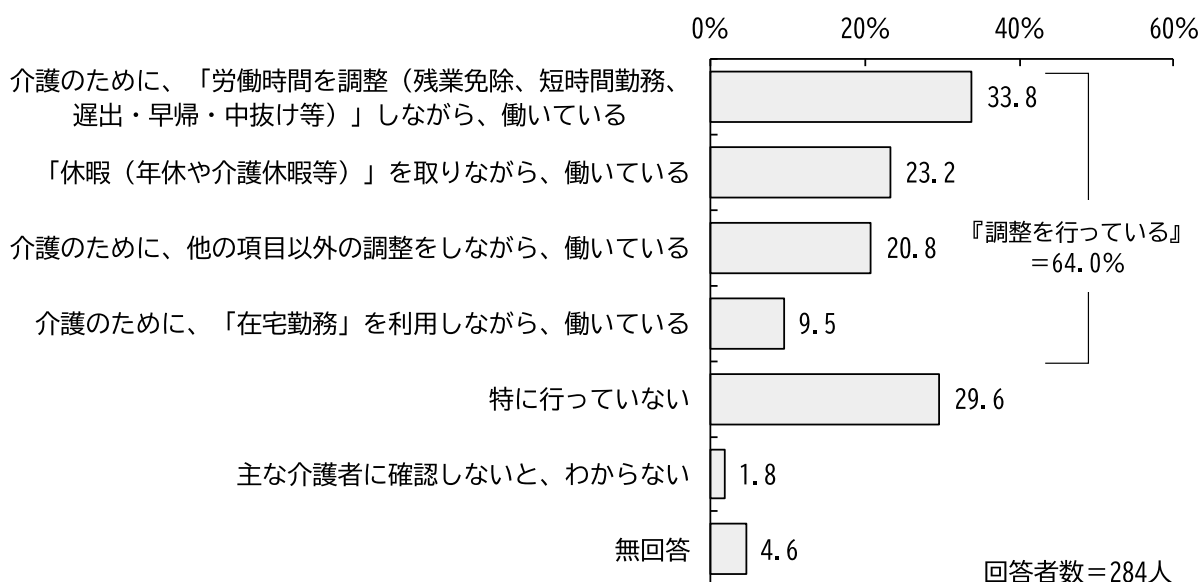
(7) 介護者の働き方調整

問8 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

介護者の働き方調整については、『調整を行っている』64.0%、「特に行っていない」29.6%となっています。

『調整を行っている』と回答した方の内訳は、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」33.8%が最も高く、次いで「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」23.2%、「介護のために、他の項目以外の調整をしながら、働いている」20.8%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」9.5%となっています。

図表 2-39 介護者の働き方調整 (複数回答)



※『調整を行っている』(%) = 全体(%) - 「特に行っていない」(%) - 「主な介護者に確認しないと、わからない」(%) - 「無回答」(%)

(8) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

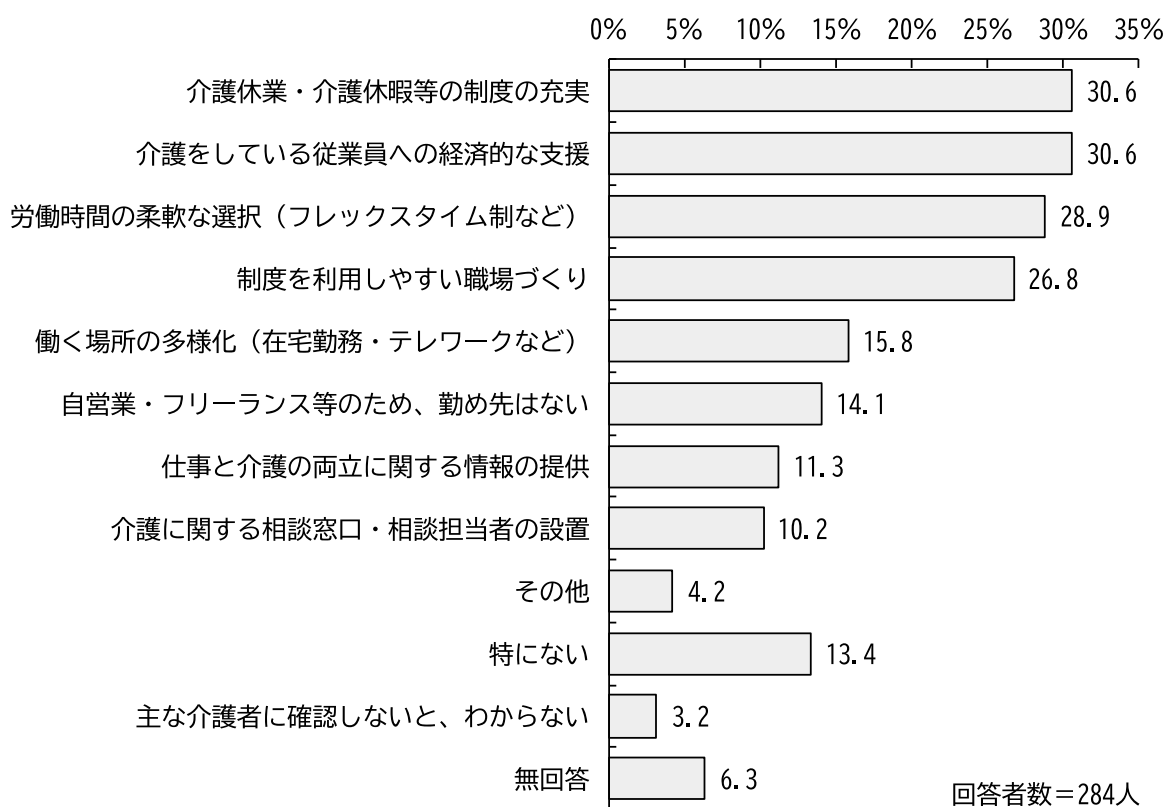
問9 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

(3つまで選択可)

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」がともに30.6%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」28.9%、「制度を利用しやすい職場づくり」26.8%が続いています。

一方、「特にない」は13.4%となっています。

図表 2-40 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 (複数回答)



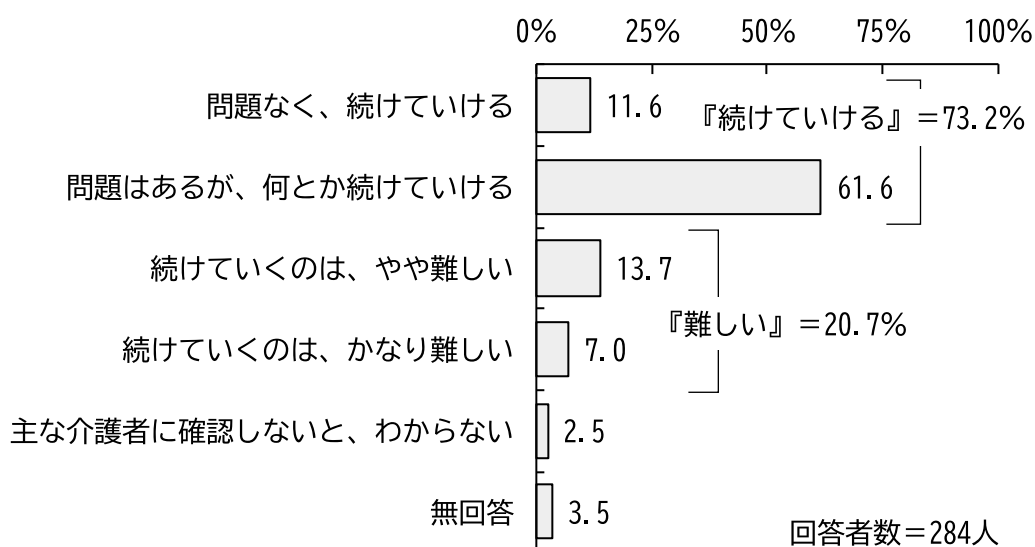
(9) 働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み

問10 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

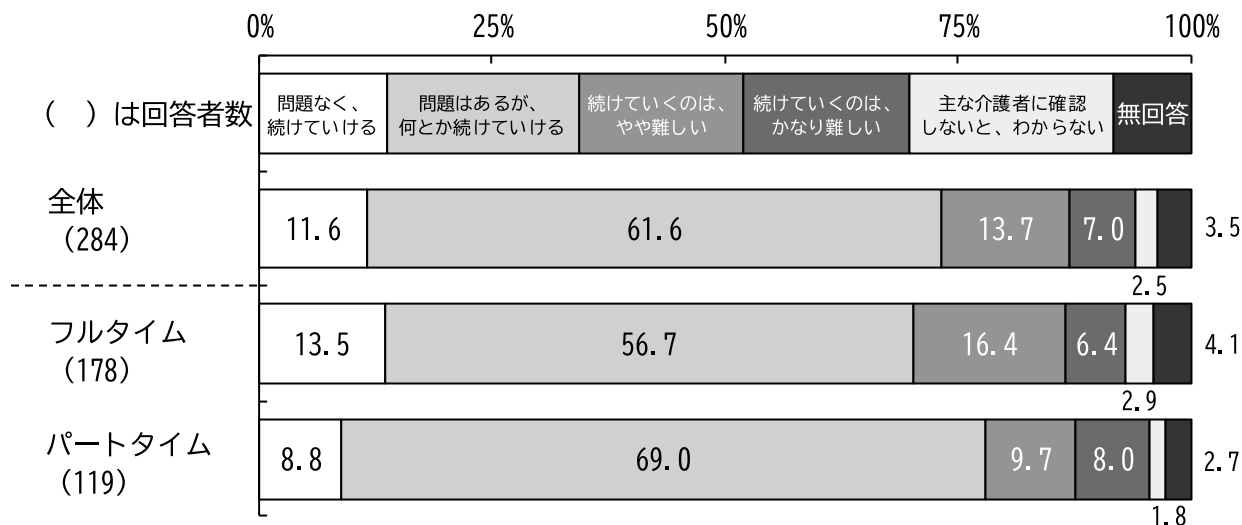
働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込みについては、『続けていける』73.2%、『難しい』20.7%となっています。その内訳は、「問題はあるが、何とか続けていける」61.6%が最も高くなっています。

主な介護者の現在の勤務形態別にみると、『難しい』割合はフルタイム 22.8%、パートタイム 17.7%で、パートタイムよりフルタイムが 5.1ポイント高くなっています。

図表 2-41 主な介護者の今後の見込み



図表 2-42 主な介護者の今後の見込み【主な介護者の現在の勤務形態別】



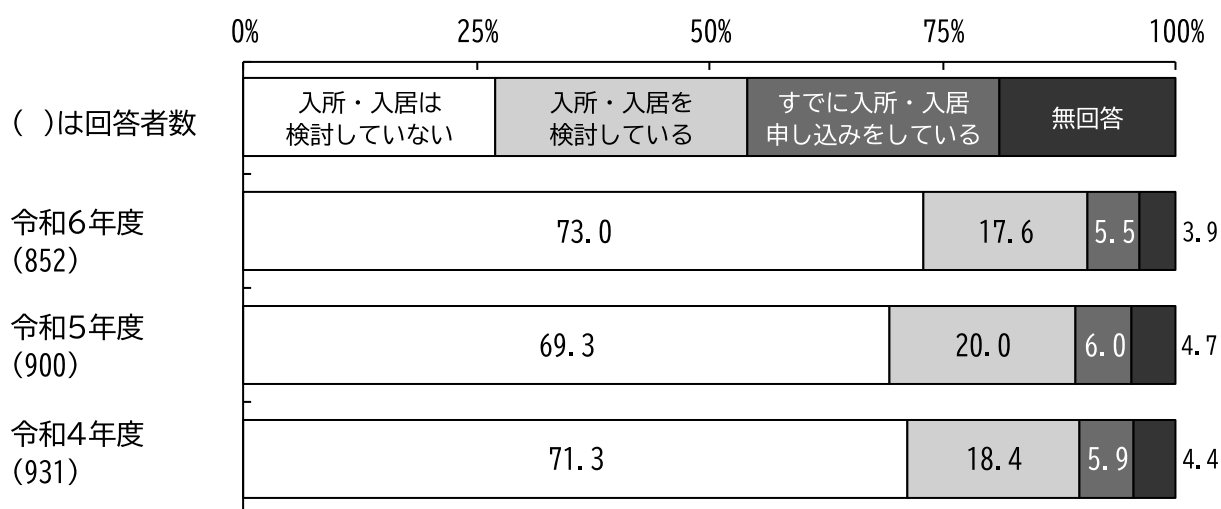
3 過去3年間の比較

(1) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況の3年間の推移をみると、「入所・入居は検討していない」は令和4年度 71.3%、令和5年度 69.3%、令和6年度 73.0%となっています。

「入所・入居を検討している」は令和4年度 18.4%、令和5年度 20.0%、令和6年度 17.6%となっています。

図表 2-43 施設等への入所・入居の検討状況

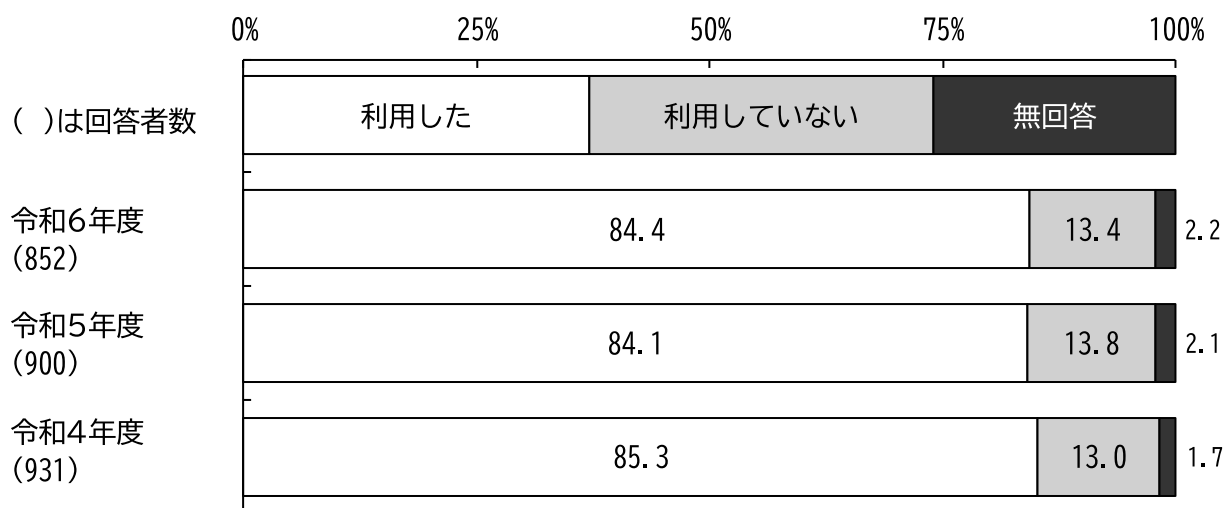


(2) 1か月間の介護サービス利用の有無

1か月間の介護サービス利用の有無の3年間の推移をみると、「利用した」は令和4年度 85.3%、令和5年度 84.1%、令和6年度 84.4%となっています。

「利用していない」は令和4年度 13.0%、令和5年度 13.8%、令和6年度 13.4%となっています。

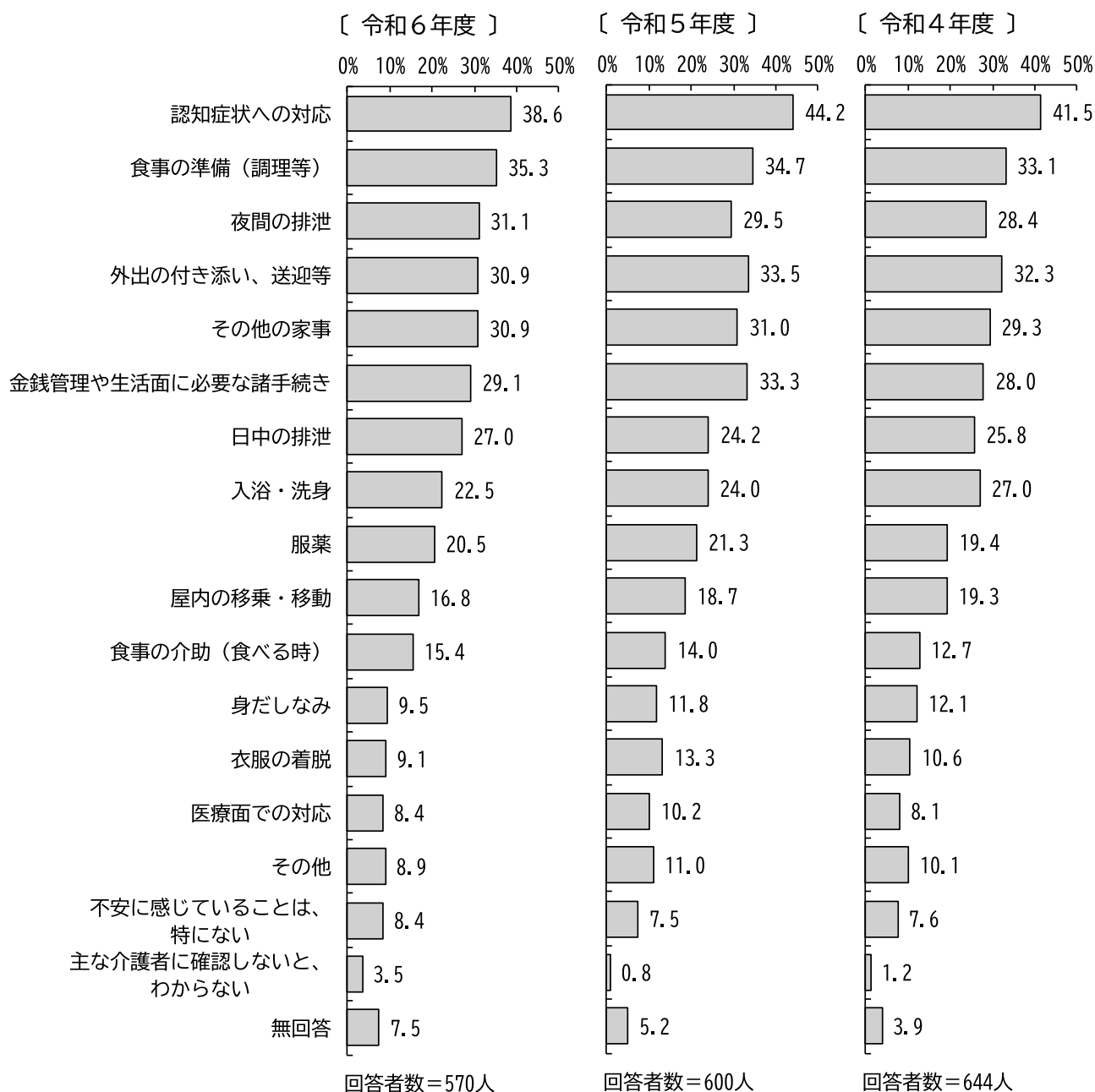
図表 2-44 1か月間の介護サービス利用の有無



(3) 主な介護者が不安に感じる介護

主な介護者が不安に感じる介護の3年間の推移をみると、3年間を通じて増加しているのは「食事の準備(調理等)」「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」となっています。

図表 2-45 主な介護者が不安に感じる介護

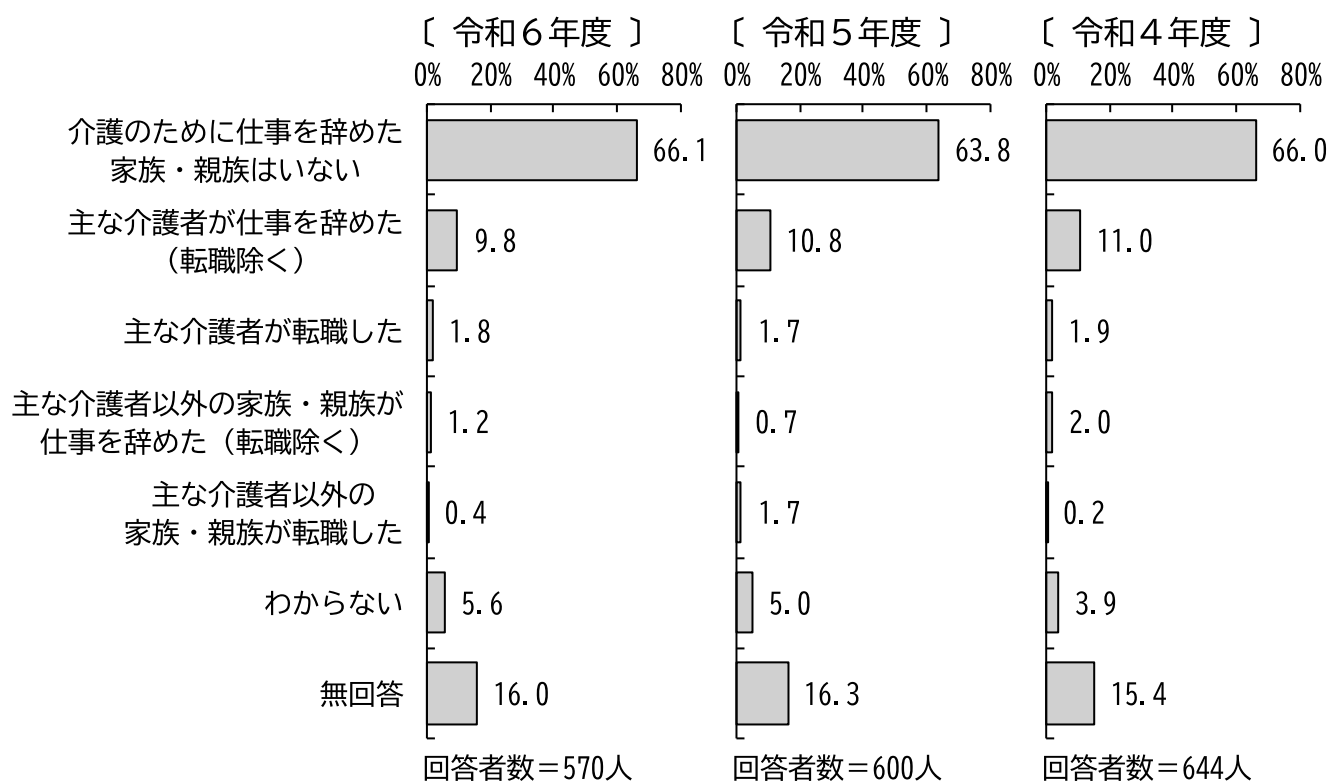


(4) 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族

介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族の3年間の推移をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は令和4年度 66.0%、令和5年度 63.8%、令和6年度 66.1%となっています。

「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は令和4年度 11.0%、令和5年度 10.8%、令和6年度 9.8%となっています。

図表 2-46 介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた家族・親族

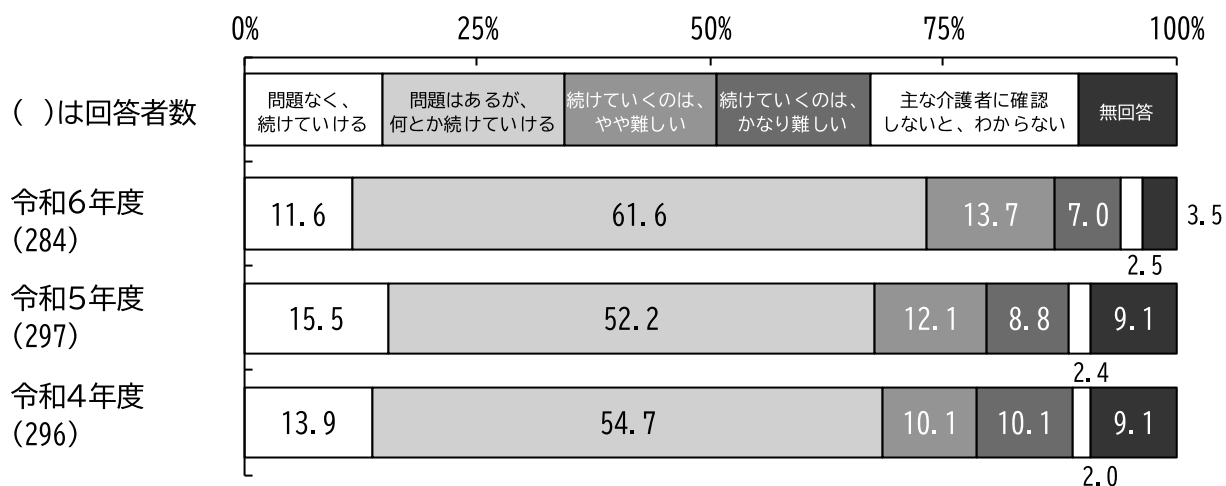


(5) 働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込み

働きながら介護を続けていくことに対する今後の見込みについて3年間の推移をみると、『続けていける』は令和4年度 68.6%、令和5年度 67.7%、令和6年度 73.2%となっています。

『難しい』は令和4年度 20.2%、令和5年度 20.9%、令和6年度 20.7%となっています。

図表 2-47 主な介護者の今後の見込み



※『続けていける』 = 「問題なく、続けていける」 + 「問題はあるが、何とか続けていける」

※『難しい』 = 「続けていくのは、やや難しい」 + 「続けていくのは、かなり難しい」

